

# 山梨県のがん統計

(がん登録)

「生活習慣病管理指導協議会 胃・大腸・肝がん部会」

令和4年2月2日(水)

山梨県福祉保健部健康増進課 がん対策推進担当

# 山梨県のがん統計

---

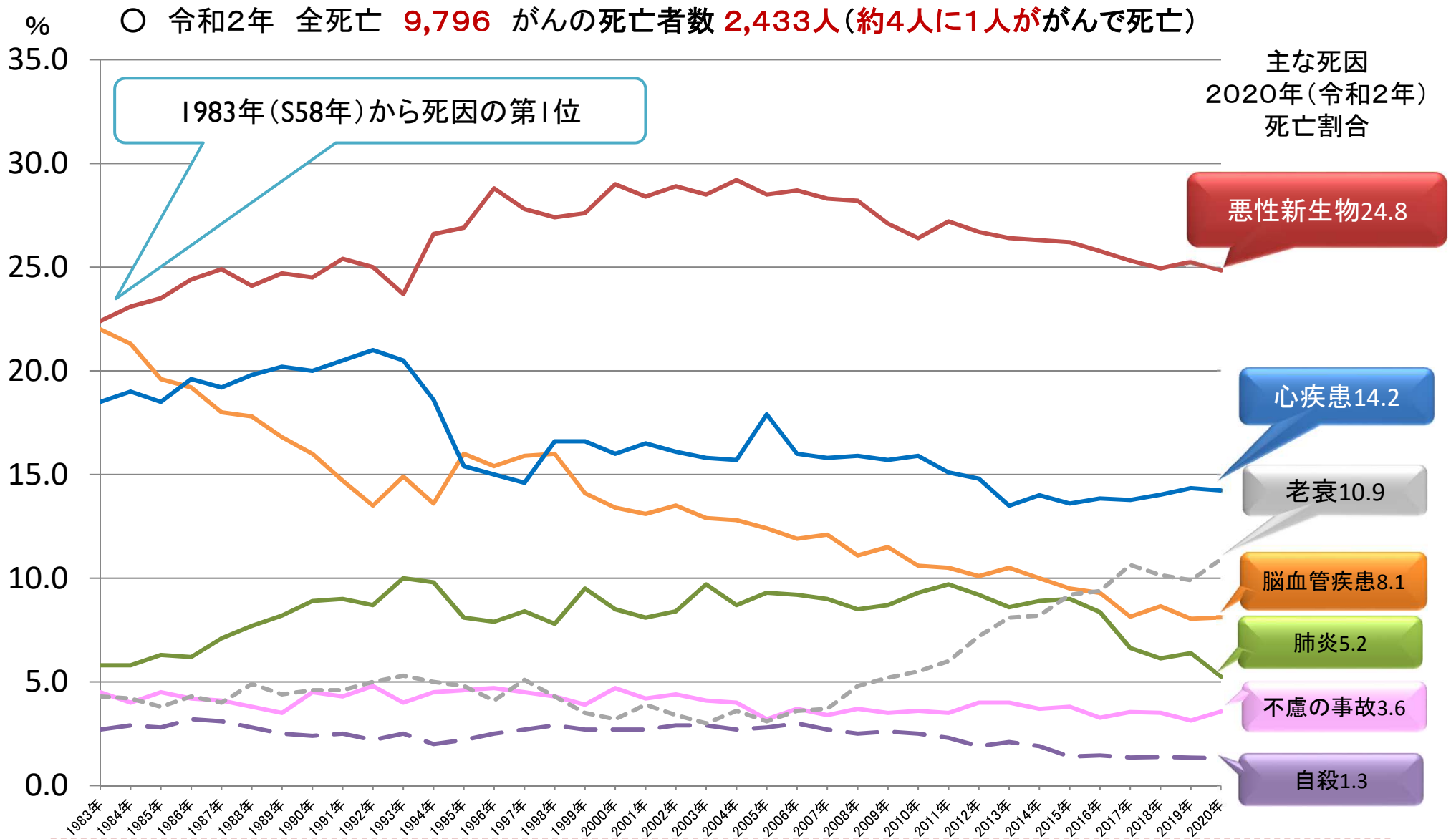
## ◆ がんの死亡統計



## ◆ がんの罹患統計

## ◆ 胃・大腸・肝がんについて

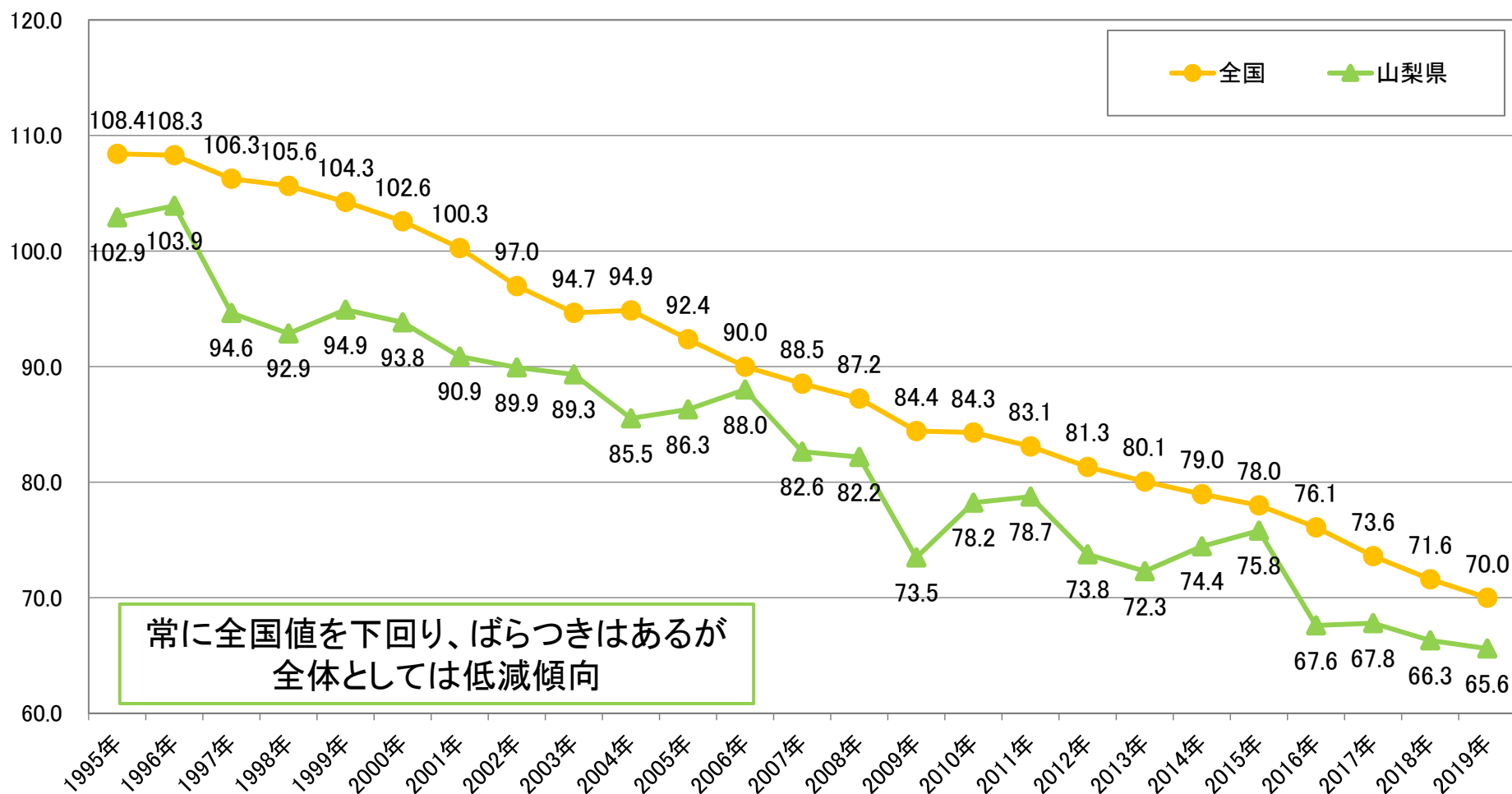
# 本県の死亡割合の推移(主な死因別)



出典: 人口動態統計

# 75歳未満年齢調整死亡率の全国との比較(人口10万対)

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

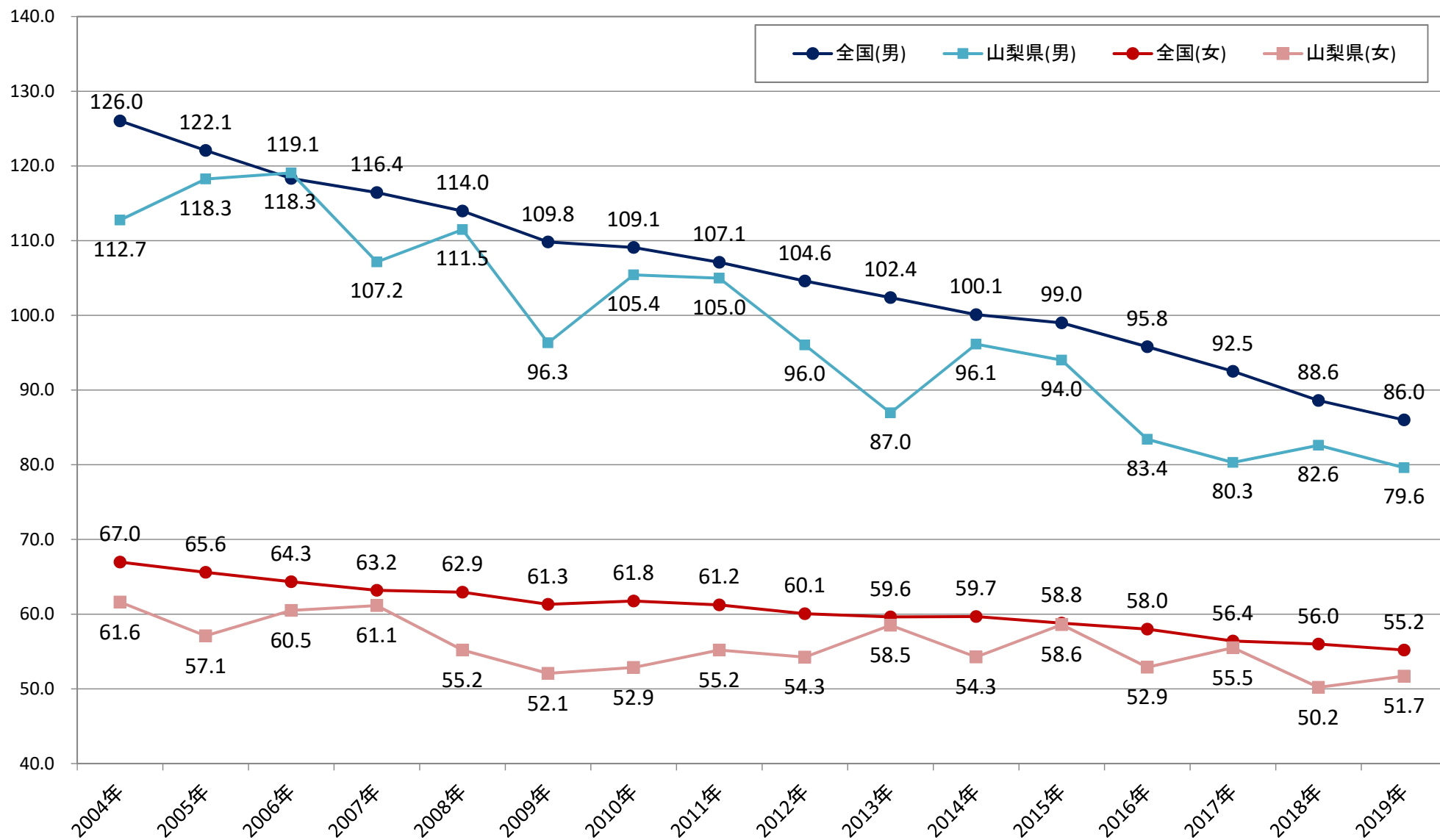


常に全国値を下回り、ばらつきはあるが  
全体としては低減傾向

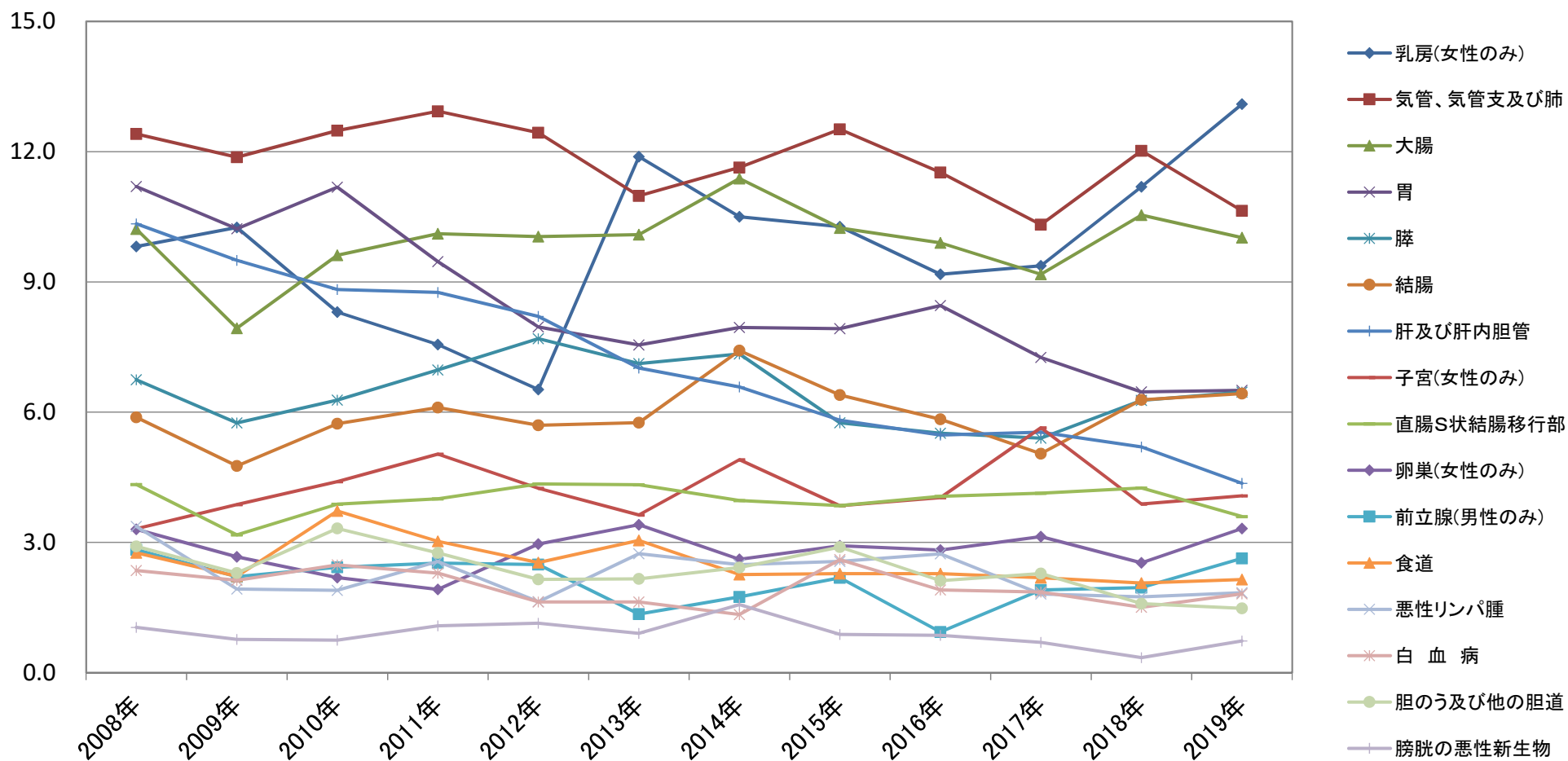
高齢化の影響を取り除いたがんによる死亡割合を示す指標である「75歳未満年齢調整死亡率」は、がん対策全体の指標となっており、全国は毎年着実に低下している。山梨県は、これを常に下回っており、がんにより亡くなる可能性が低い県と言える。人口規模が小さいことから、値にばらつきがあるものの全体としては低減傾向である。

# (男女別)75歳未満年齢調整死亡率の全国との比較(人口10万対)

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



# 部位別75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）



出典：人口動態統計・山梨県がん罹患統計

	1位	2位	3位	4位	5位
全体・男性	肺(↓)	大腸(→)	胃(↓)	膵(→)	肝(→)
女性	乳(↑)	大腸(→)	膵(↑)	肺(↓)	胃(↓)

\* 順位は、2019年 ( )内は、1995～2019年までの推移

# 山梨県のがん統計

---

◆ がんの死亡統計

◆ がんの罹患統計



◆ 胃・大腸・肝がんについて

# がんの罹患　がん登録とは

---

- **がん登録の目的**

がん登録によって得られた情報を利活用し、  
がん対策を評価するとともに、県民等に適切な  
情報を提供する。

- **地域がん登録** 2008(平成20年)～

- **全国がん登録** 2016(平成28年)～

「がん登録等の推進に関する法律」

がんと診断したら届出：病院は義務化

診療所は申請・指定

---



# 2008～2018年がん罹患数(全体)の推移

(上皮内がんを除く)

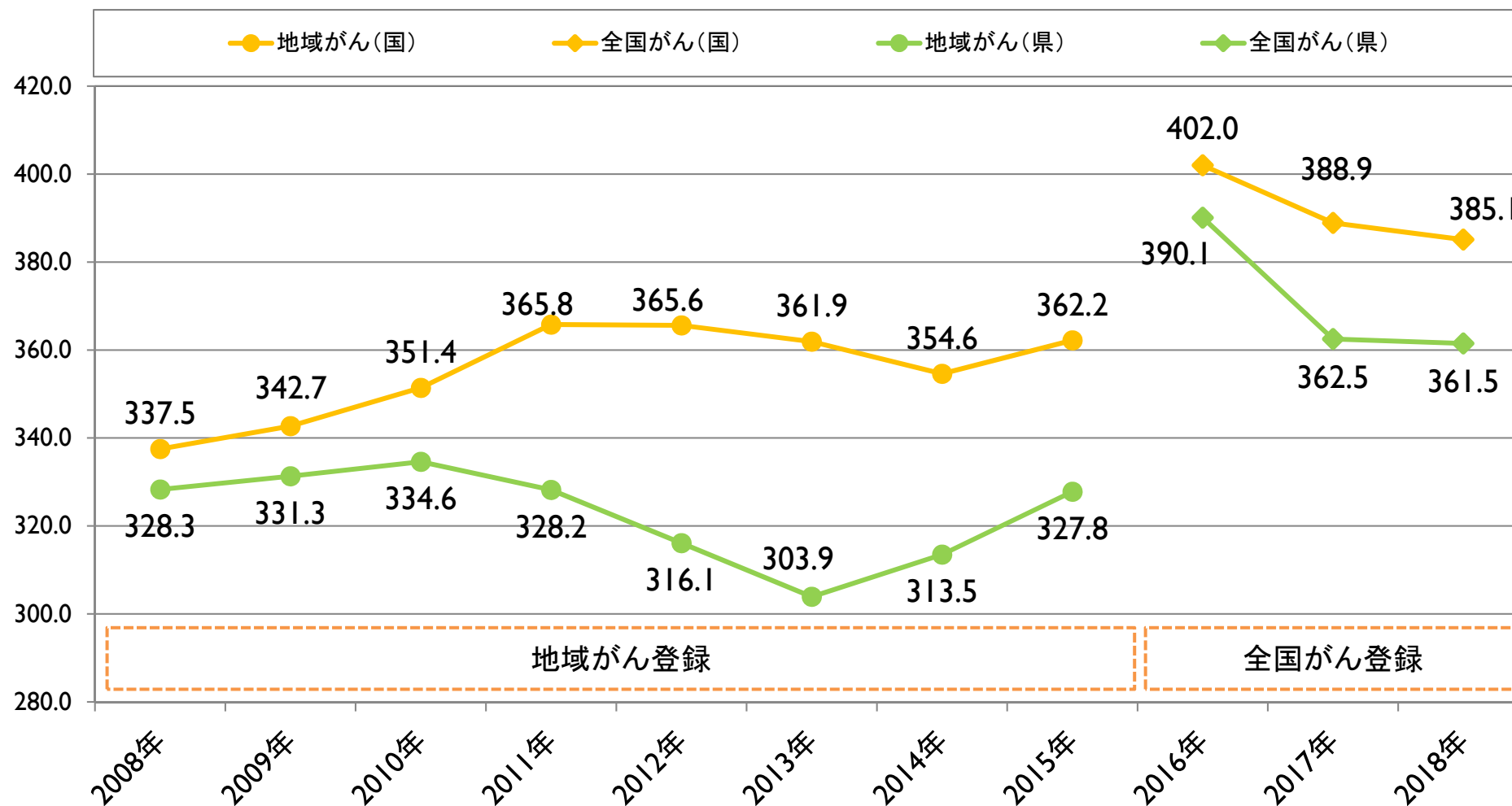
(件)	地域がん登録									全国がん登録		
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
全体	5,280	5,402	5,507	5,435	5,380	5,116	5,281	5,528	6,593	6,258	6,270	
男性	3,075	3,158	3,242	3,168	3,161	2,977	3,052	3,210	3,819	3,701	3,693	
女性	2,205	2,244	2,265	2,267	2,219	2,138	2,229	2,318	2,773	2,557	2,577	

出典：国立がん研究センターがん情報サービス  
山梨県がん登録罹患集計

全国がん登録となり1.2倍(20%増)  
(内訳: 県外15% 県内5%の増加)

# 全部位年齢調整罹患率の全国との比較(上皮内がんを除く) (人口10万対)

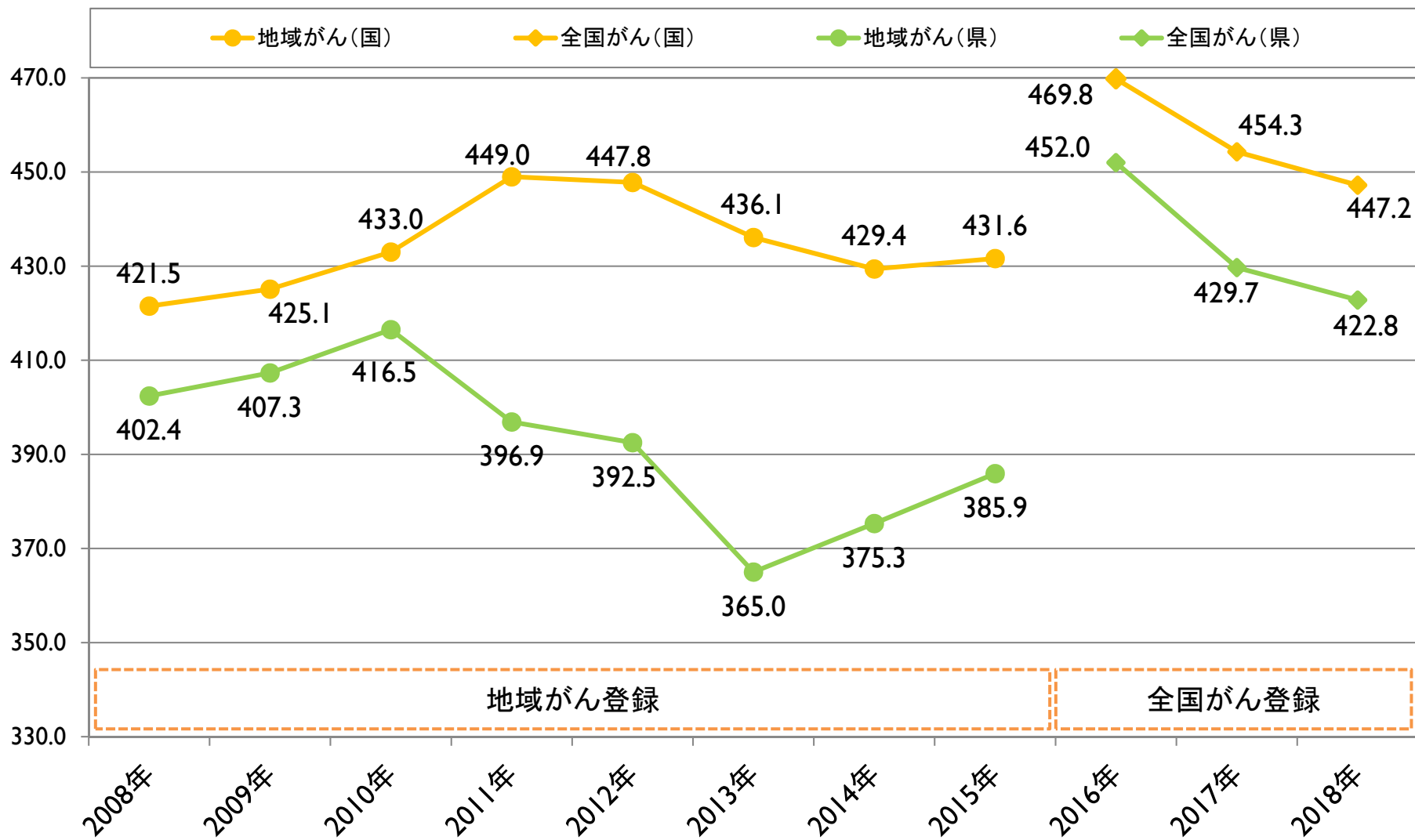
出典：国立がん研究センターがん情報サービス



高齢化の影響を取り除いたがんに罹る人の割合(年齢調整罹患率)は、がんの予防についての総合的な指標となる。山梨県においては、統計を取り始めた2008年以降、各年において全国を下回っている。

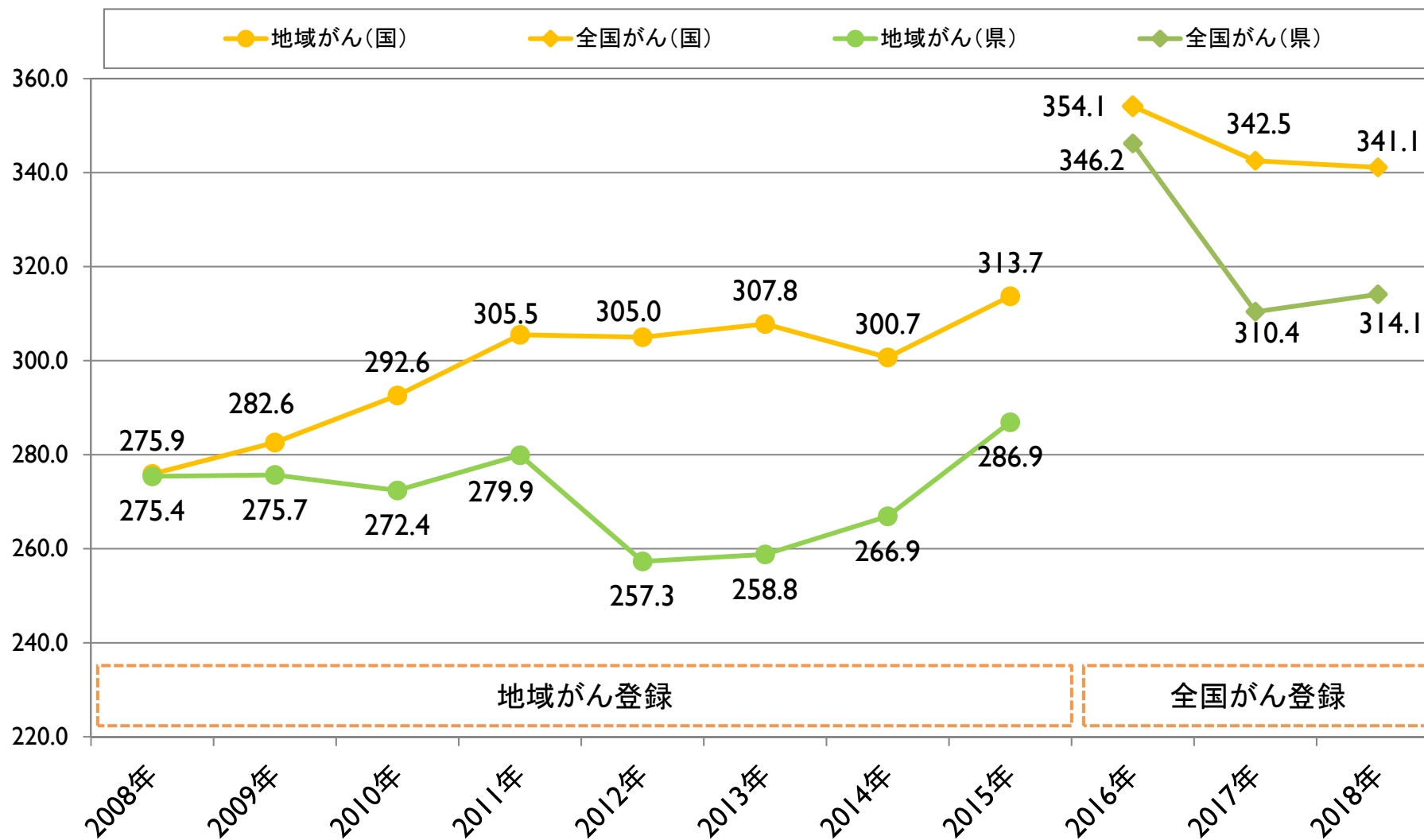
# (男性)年齢調整罹患率の全国との比較(上皮内がんを除く) (人口10万対)

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



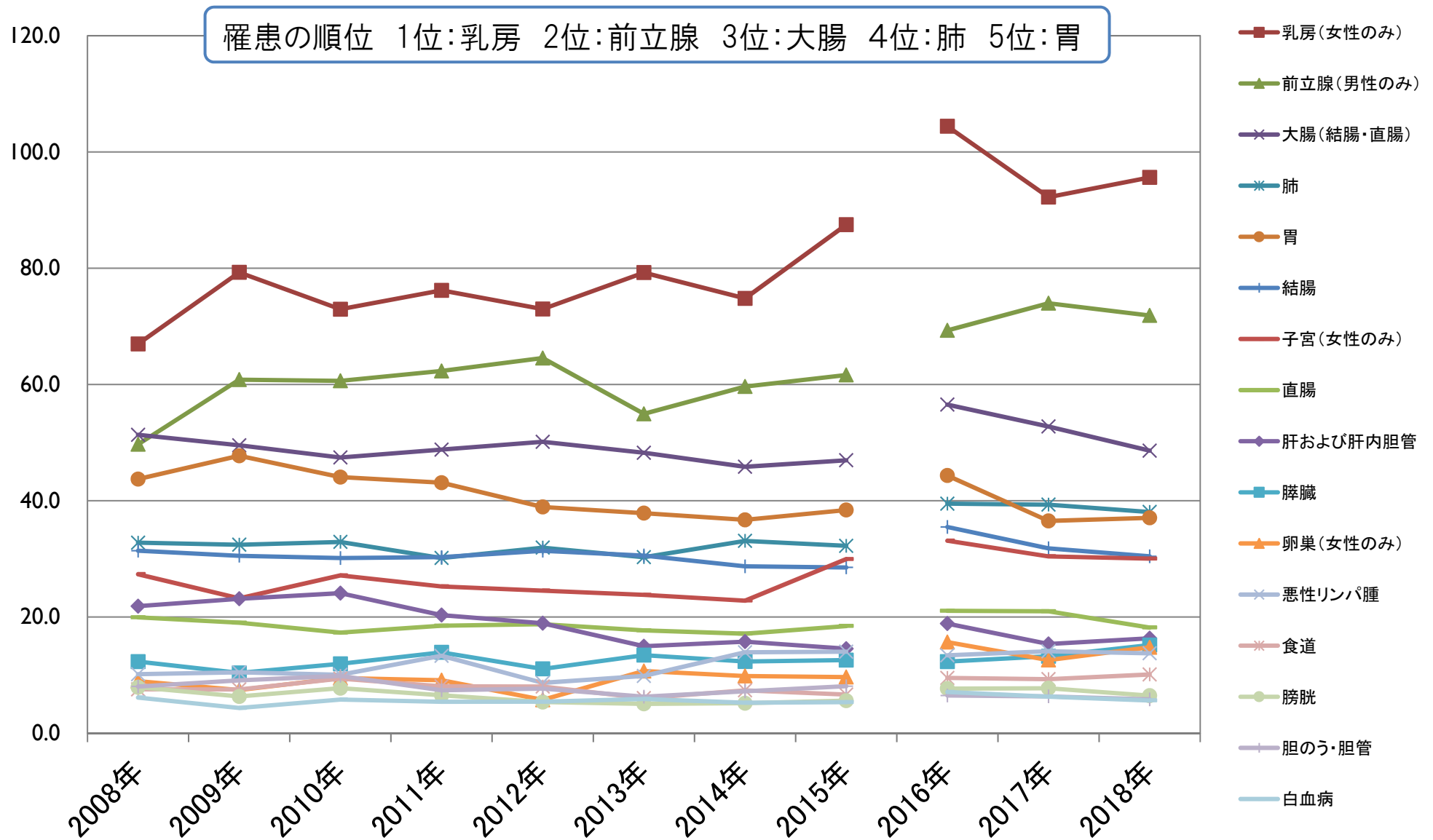
# (女性)年齢調整罹患率の全国との比較(上皮内がんを除く) (人口10万対)

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



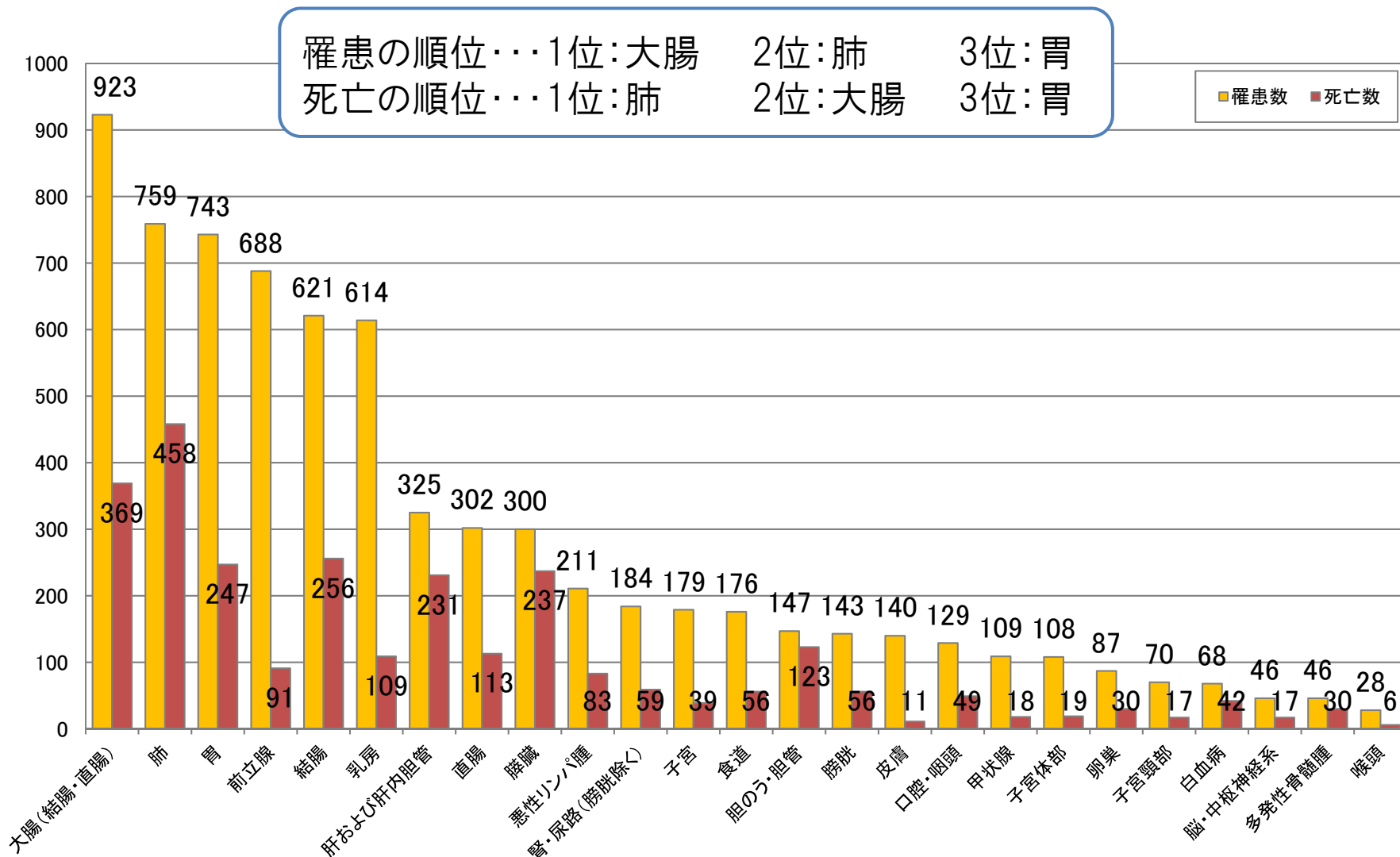
# がんの部位別年齢調整罹患率(人口10万対)(上皮内がんを除く)

出典: 国立がん研究センターがん情報サービス



がんの部位別の年齢調整罹患率は、女性のみや男性のみを母数にしている乳がんや前立腺がんで高い。

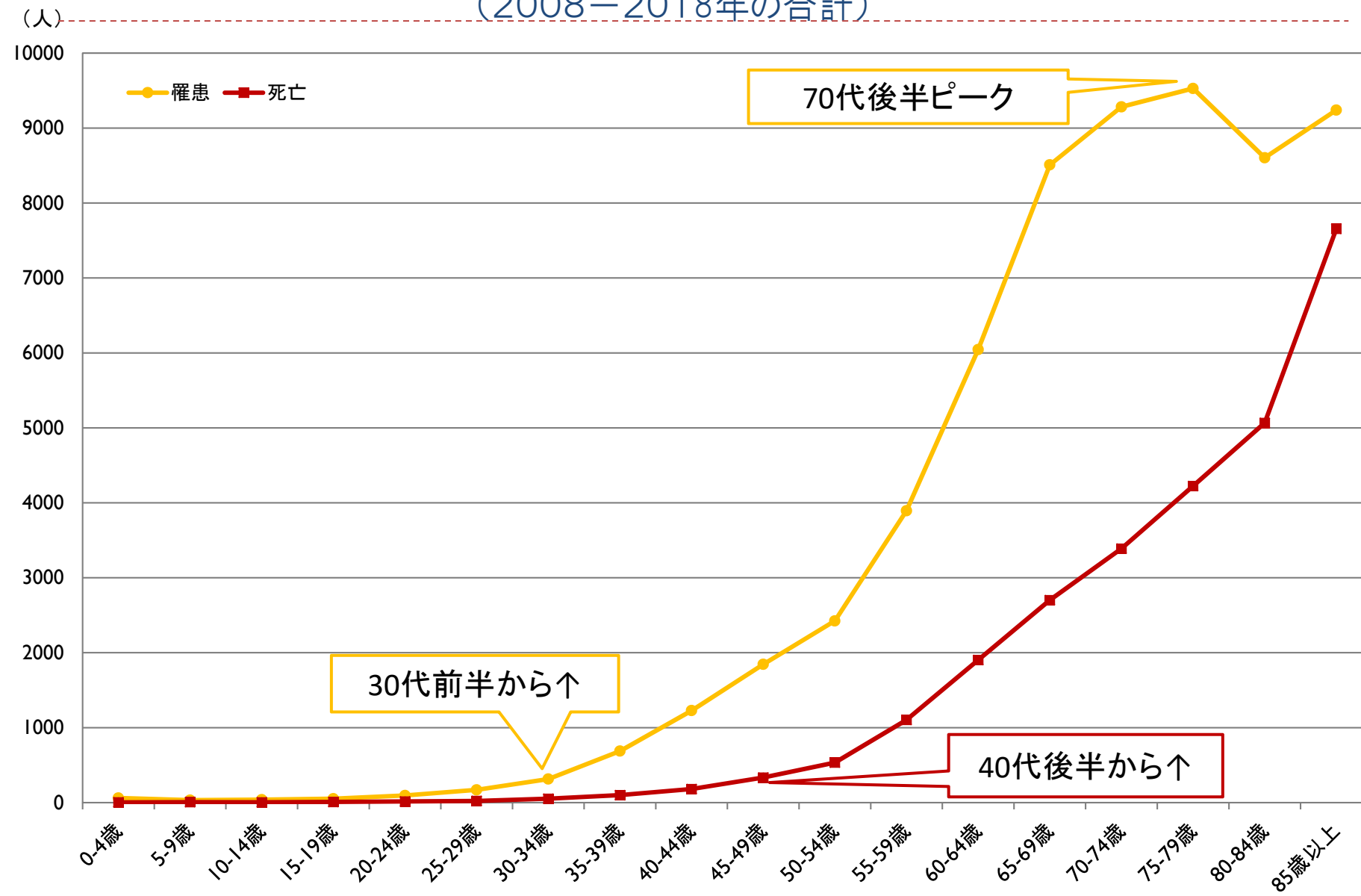
# 本県の罹患数と死亡数の比較(2018年)



がんにかかった人の数(罹患数)は、大腸がんが最も多く、肺がん、胃がんが続いている。がんにより亡くなった人の数(死亡数)については、肺がんが最も多く、大腸がん、胃がんの順になっている。乳がんや前立腺がんのように罹患数に比べて死亡数が少なく、死亡原因になりにくいがんがある一方で、肝がんやすい臓がん、胆のうがんなど、罹患数と死亡数の差が小さいがんもあるということもわかる。

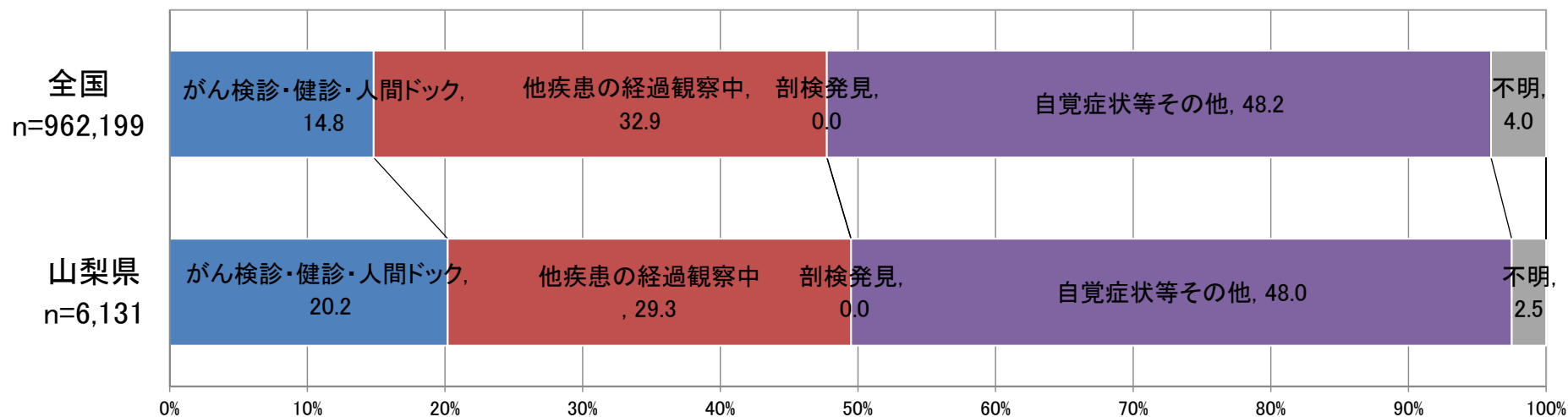
# 全がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比較

(2008-2018年の合計)

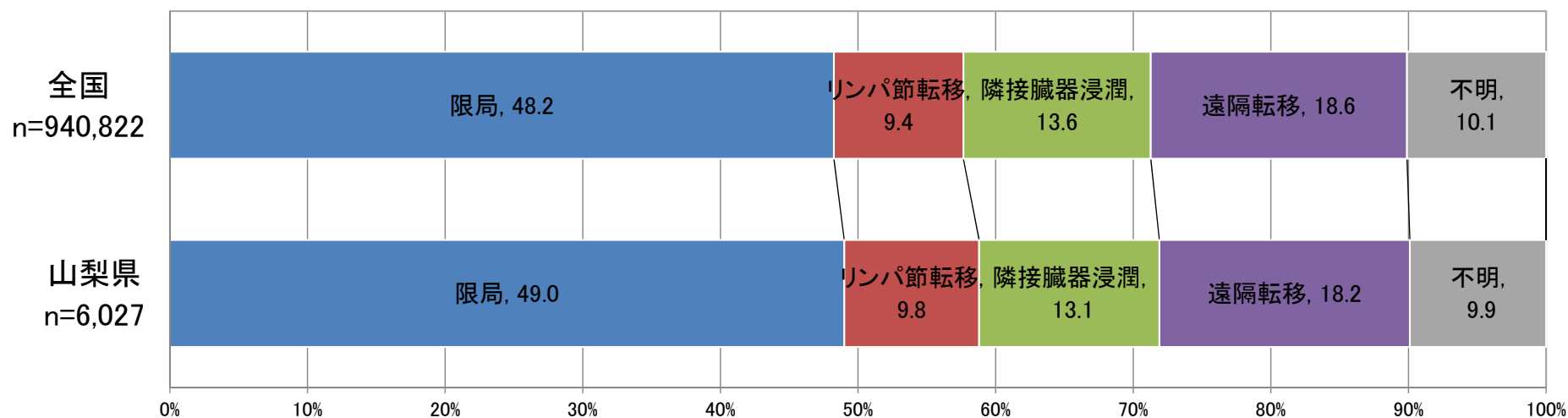


# がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(2018年)

## ○ 山梨県におけるがん罹患時の発見経緯の全国との比較(%)



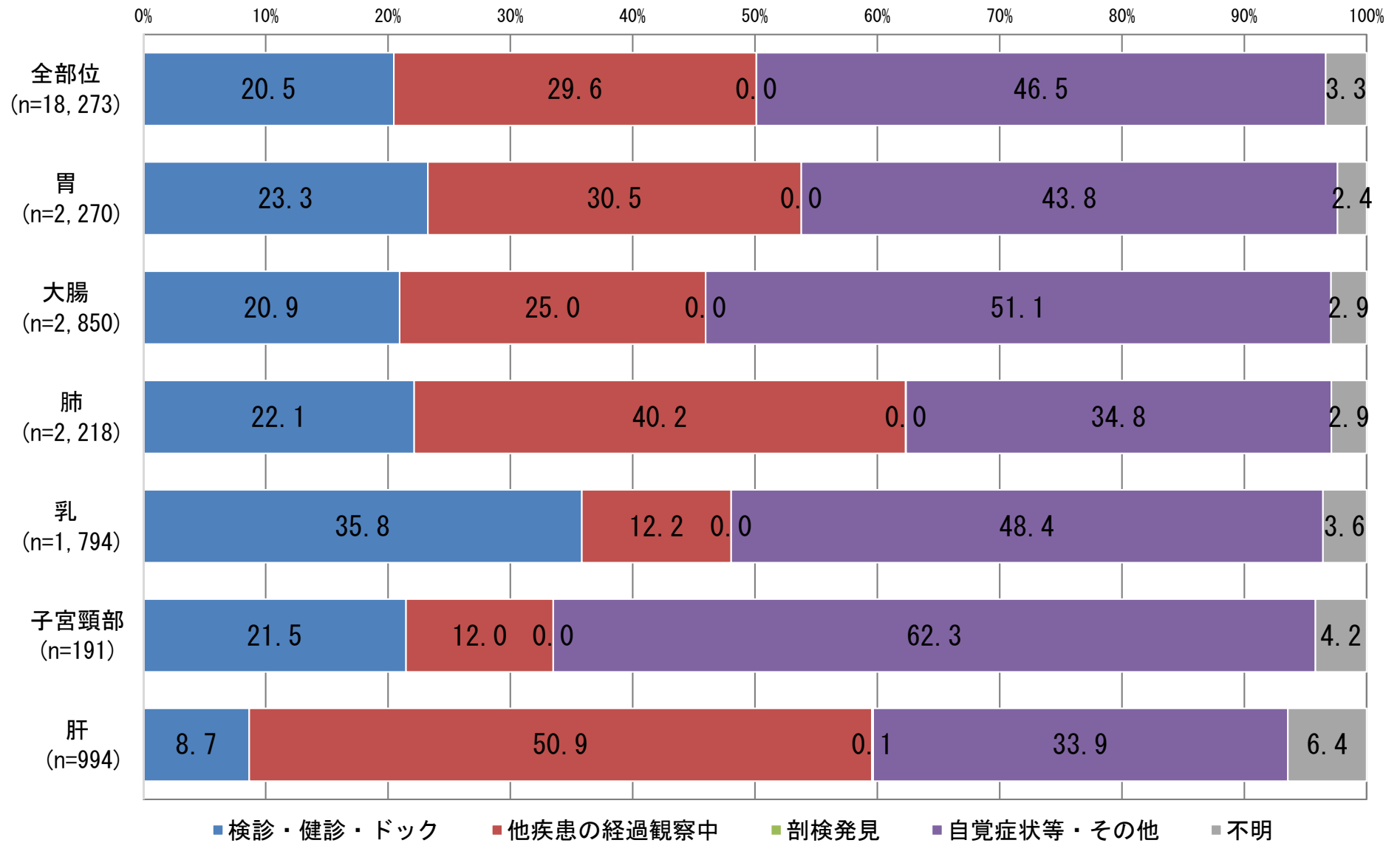
## ○ 山梨県におけるがん罹患時の進行度の全国との比較(%)





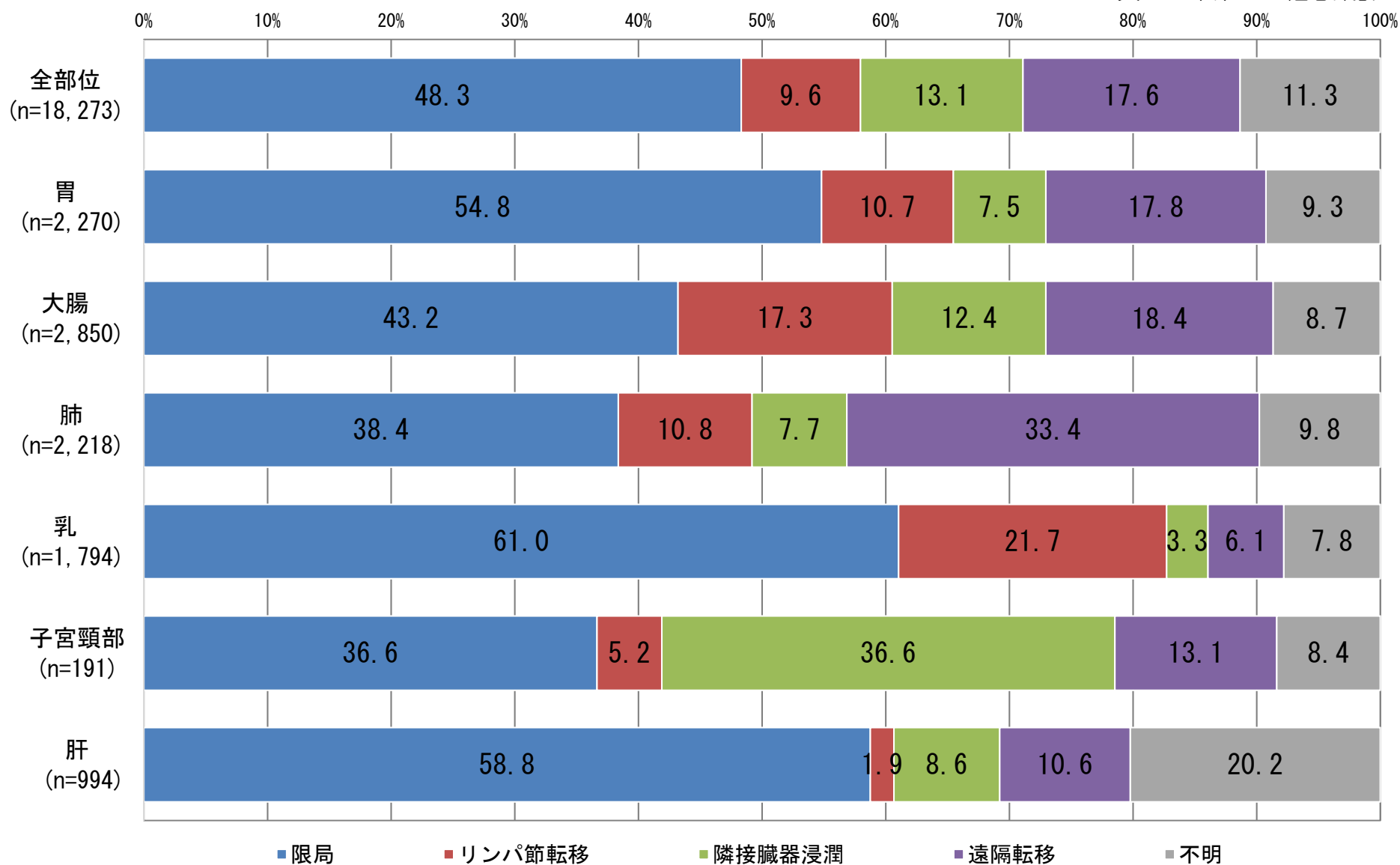
# 部位別の発見経緯 (2016~2018年)

出典：山梨県がん罹患集計



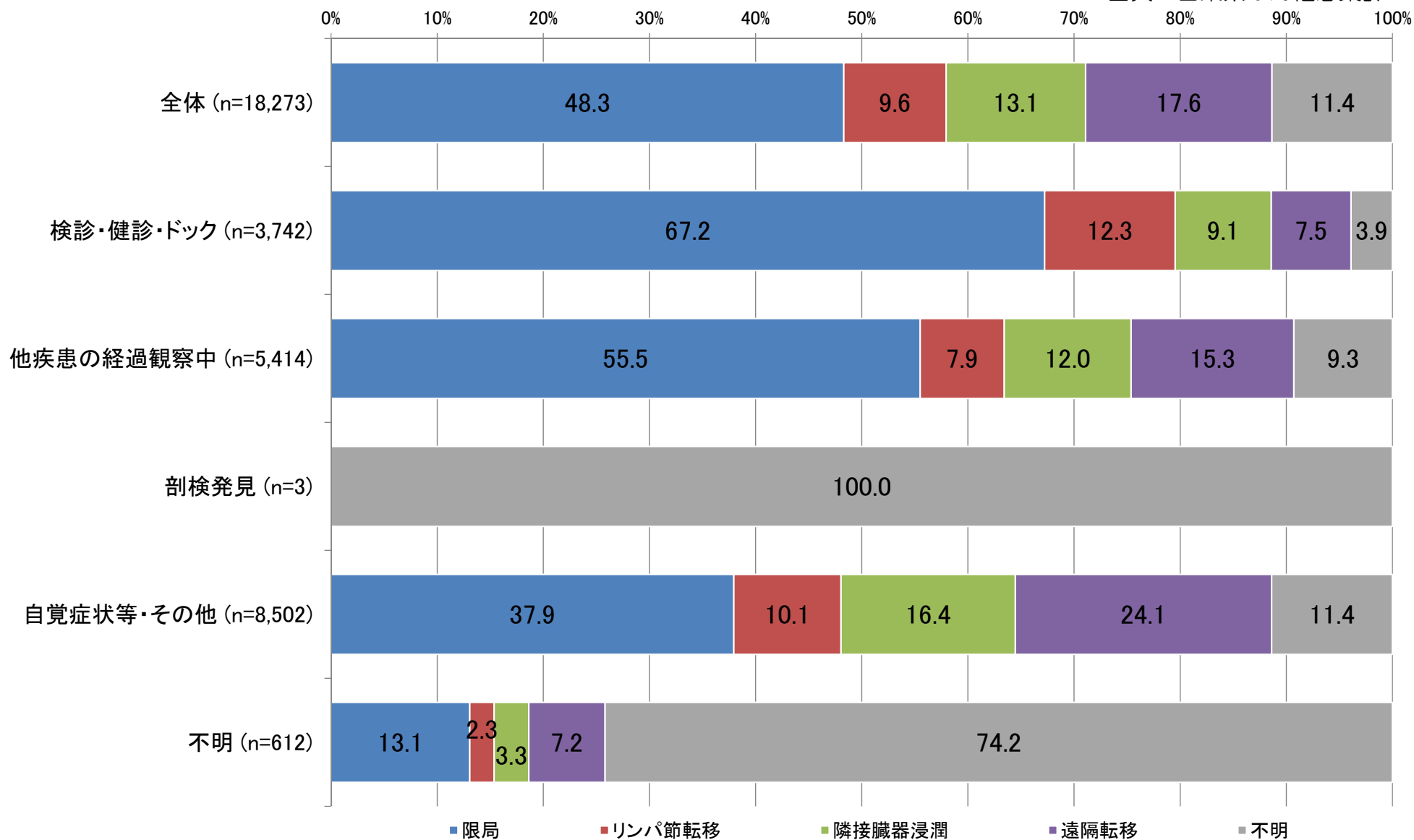
# 部位別の進行度 (2016~2018年)

出典：山梨県がん罹患集計

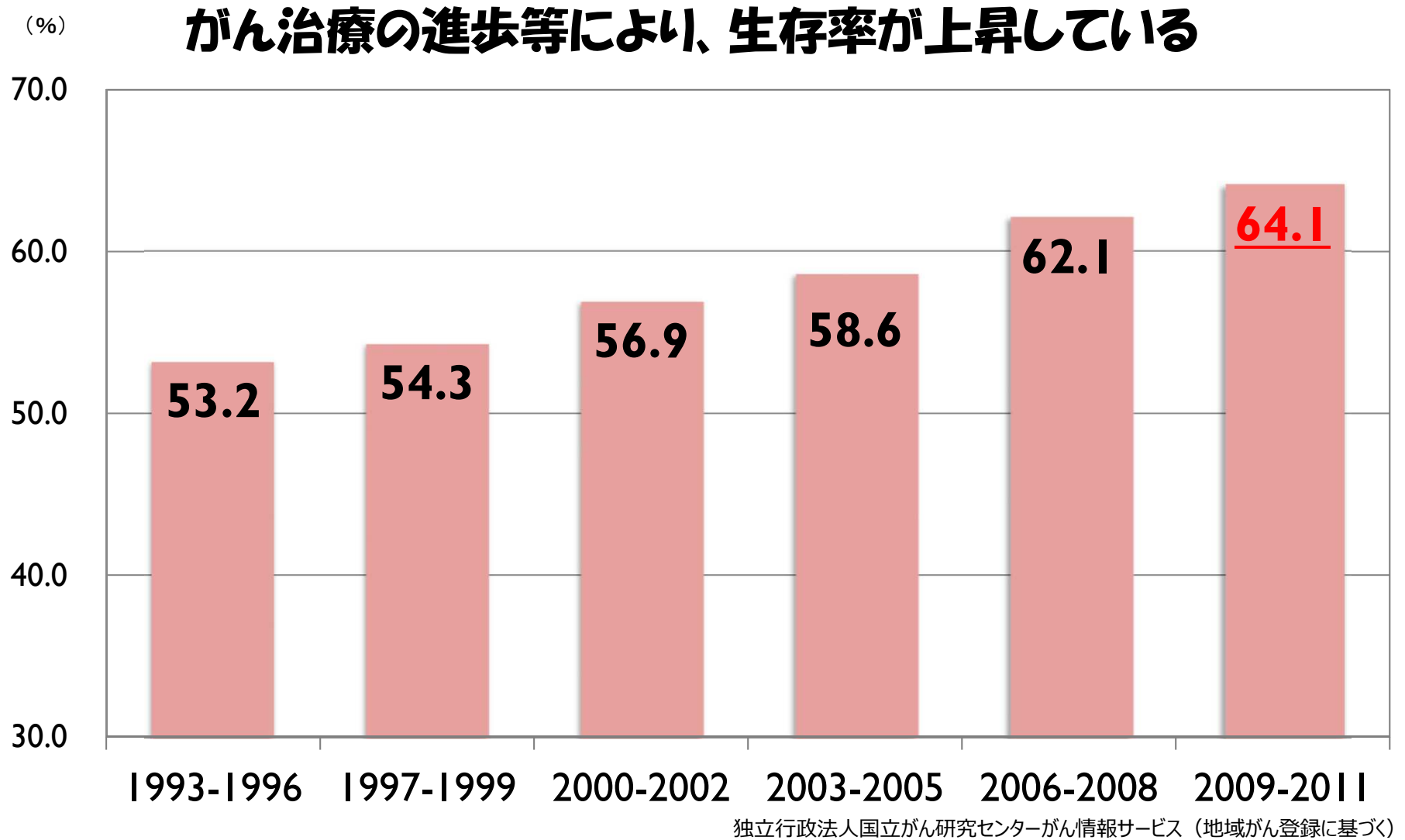


# 全がん発見経緯別の進行度(2016年～2018年全部位)(%)

出典：山梨県がん罹患集計

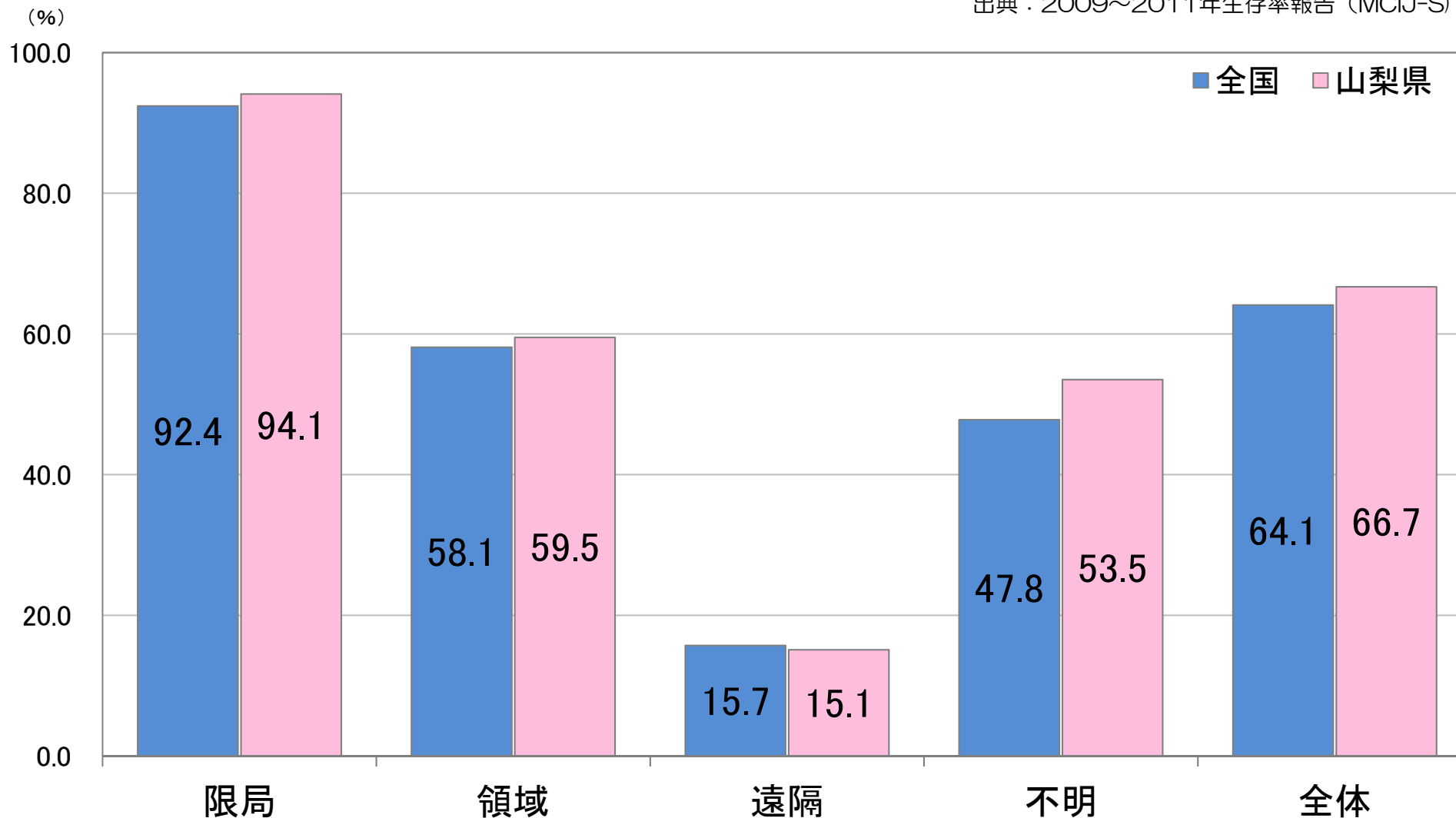


# (国)5年相対生存率(全がん)



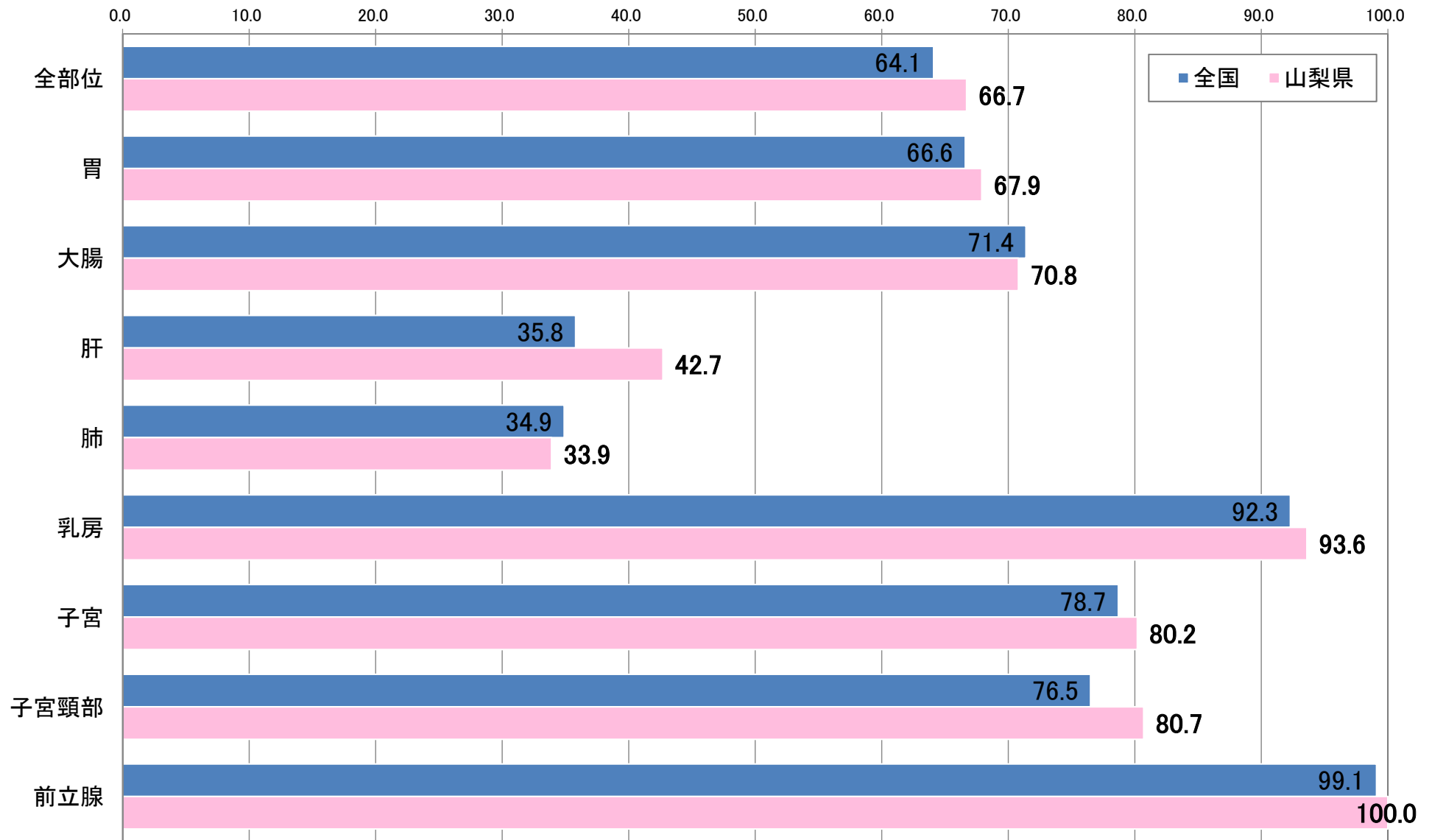
# 全がん進行度別5年相対生存率の全国との比較

出典：2009～2011年生存率報告（MCIJ-S）



領域：リンパ節転移 + 隣接臓器浸潤

# 部位別5年相対生存率の全国との比較 (%)



出典：2009～2011年生存率報告（MCIJ-S）

# がん登録情報のデータ精度の全国との比較

出典：全国がん罹患モニタリング集計（MCIJ） 山梨県がん罹患集計

	DCN		DCO		IM比	
	全国	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県
MCIJ掲載基準	30%未満		25%未満		1.5以上	
2008年	20.2	21.8	13.6	11.9	2.13	2.14
2009年	20.1	19.6	13.4	9.5	2.20	2.32
2010年	18.0	19.4	12.0	10.2	2.23	2.24
MCIJ(基準A) * 推計値採用基準	20%未満		10%未満		2.0以上	
2011年	11.9	17.4	5.3	7.7	2.31	2.13
2012年	13.1	15.9	5.6	7.4	2.31	2.11
2013年	8.3	5.9	5.0	4.4	2.30	2.05
2014年	7.8	10.9	4.7	6.1	2.33	2.05
2015年	7.3	9.9	4.4	4.8	2.40	2.19
	DCI (20%未満)		DCO (10%未満)		MI比 (0.4以下)	
2016年	4.5	5.9	3.2	3.2	0.37	0.37
2017年	4.9	4.4	2.1	1.9	0.39	0.35
2018年	3.1	4.6	1.9	2.2	0.38	0.39

- ▽ MCIJ：全国がん罹患モニタリング集計（上皮内がんを除く）
  - ▽ DCN：death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたもの
  - ▽ DCO：death certificate only 死亡票のみで登録されているもの
  - ▽ DCI：death certificate initiated 遡り調査で届出されたがん+DCO
  - ▽ IM比：罹患数と死亡数の比(罹患数/死亡数)
  - ▽ MI比：死亡数と罹患数の比(死亡数/罹患数)
- ※全国がん登録システムの集計仕様による値を表示

がん登録は、がんに罹ったことを診断したときに医療機関が登録を行う仕組みである。死亡時に初めて把握される割合(DCN)や死亡時の情報しかない割合(DCO)が低い方が精度が高く、山梨県は2011年に診断された症例以降は高い精度を保っている。

# 山梨県のがん統計

---

- ◆ がんの死亡統計
- ◆ がんの罹患統計
- ◆ 胃・大腸・肝がんについて



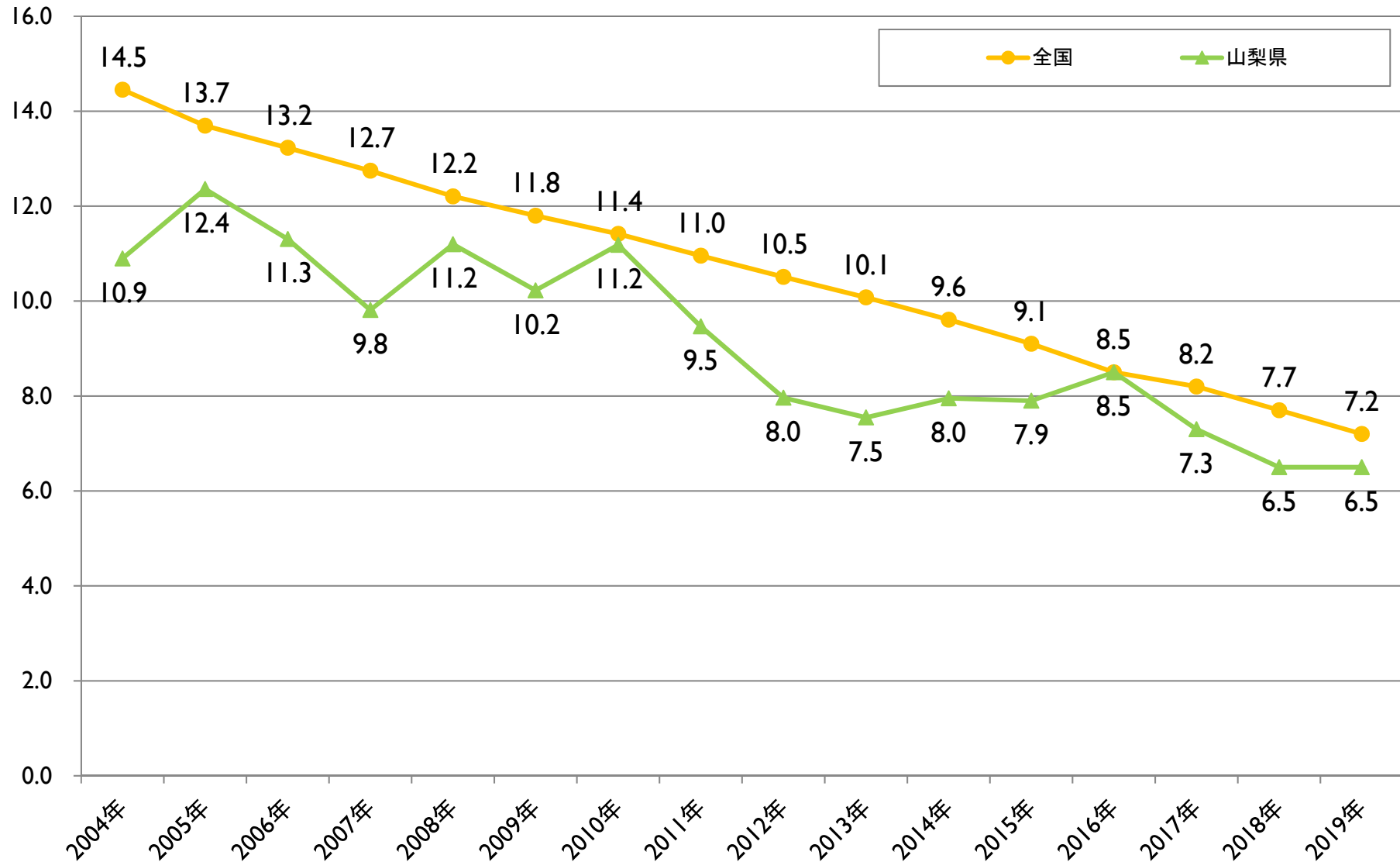


# 胃がんについて

山梨県のがん統計

# 胃がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

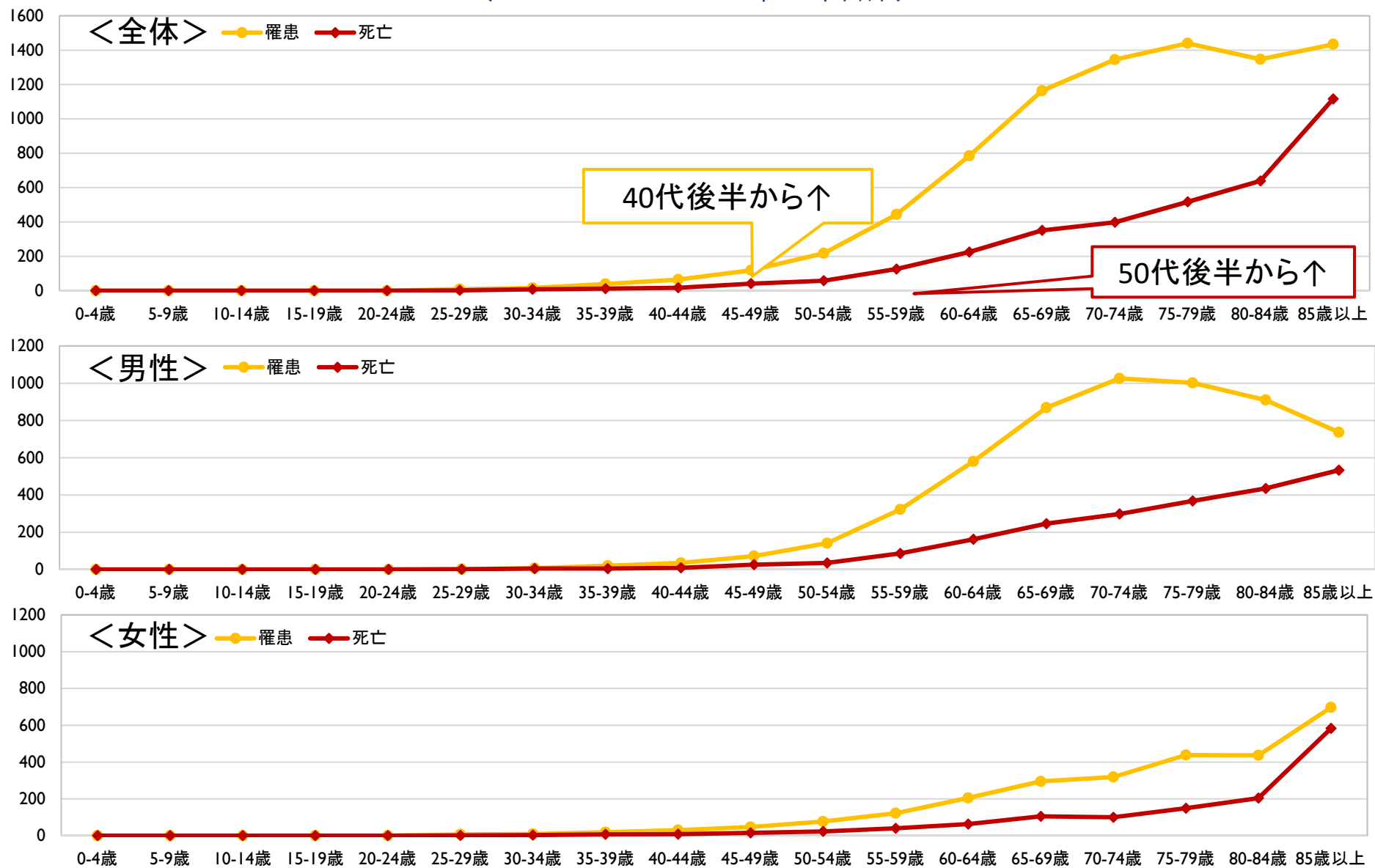


山梨県健康増進課がん対策推進担当

# 胃がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比較

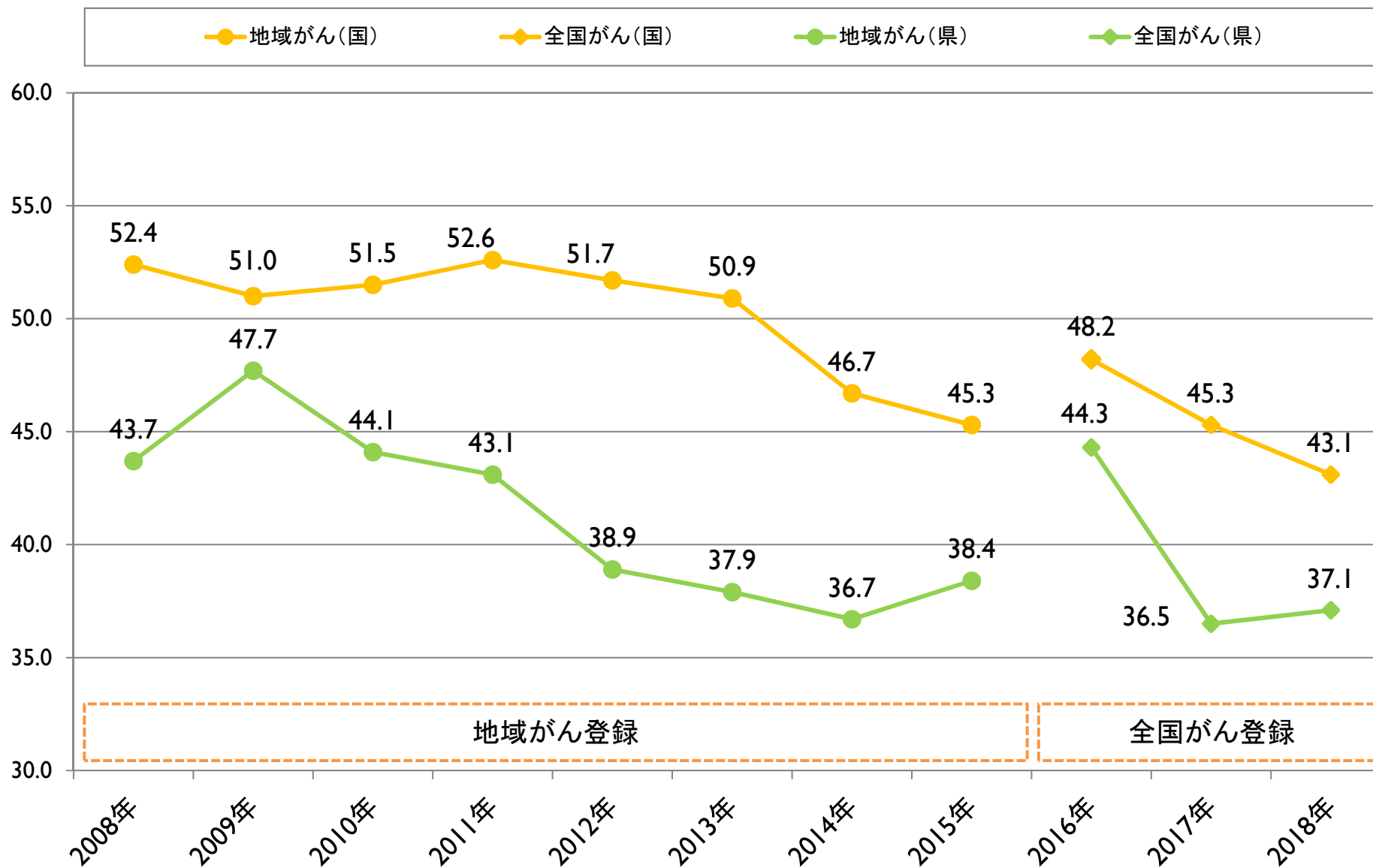
(2008-2018年の合計)

(人)

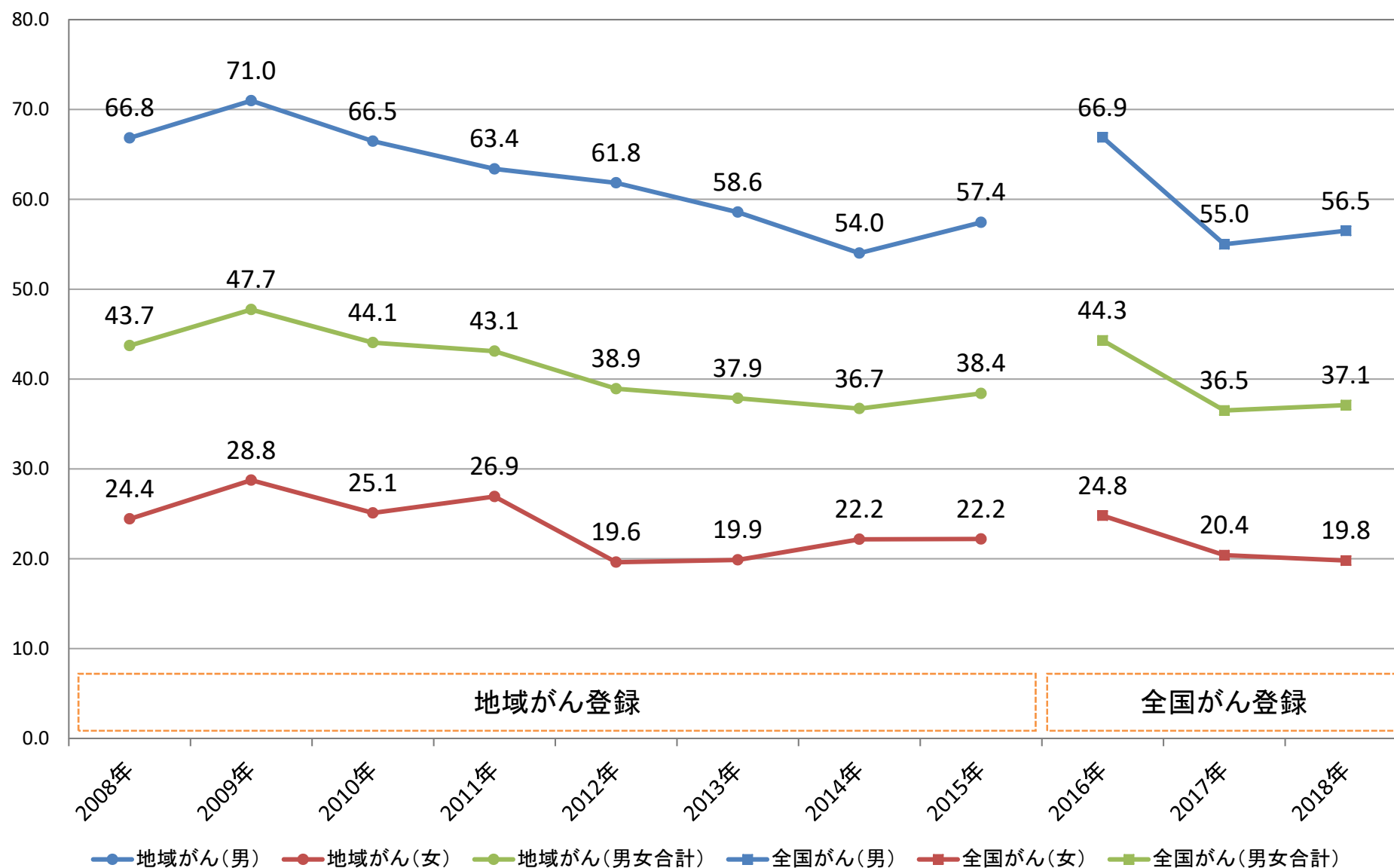


出典：人口動態統計・山梨県がん罹患統計

# 胃がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



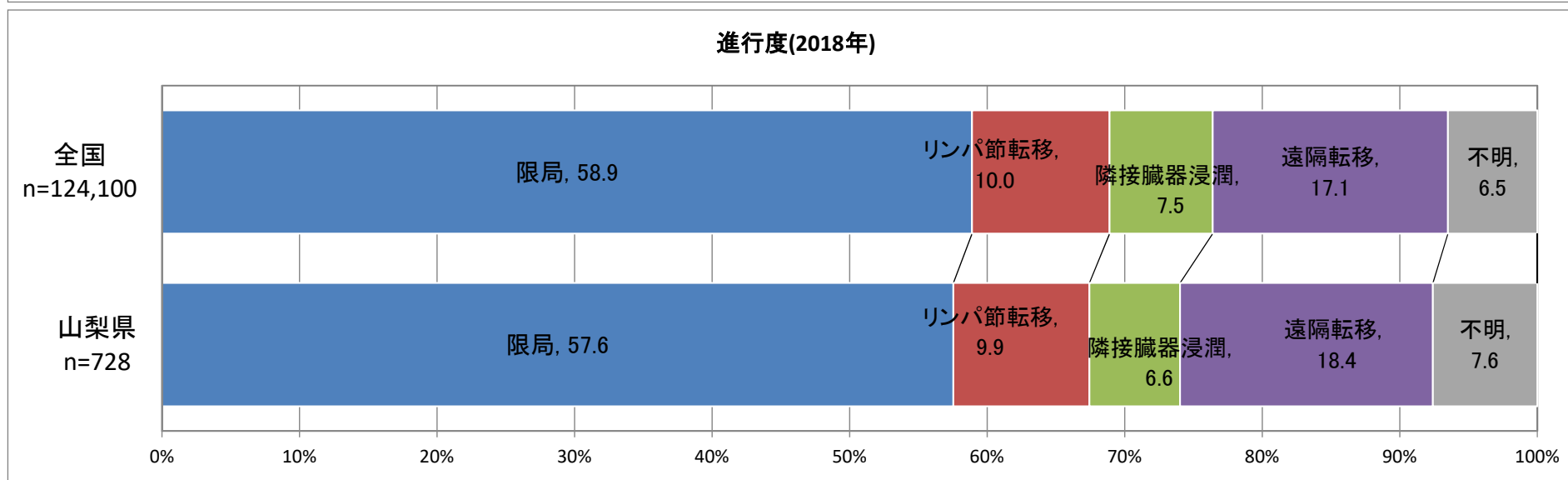
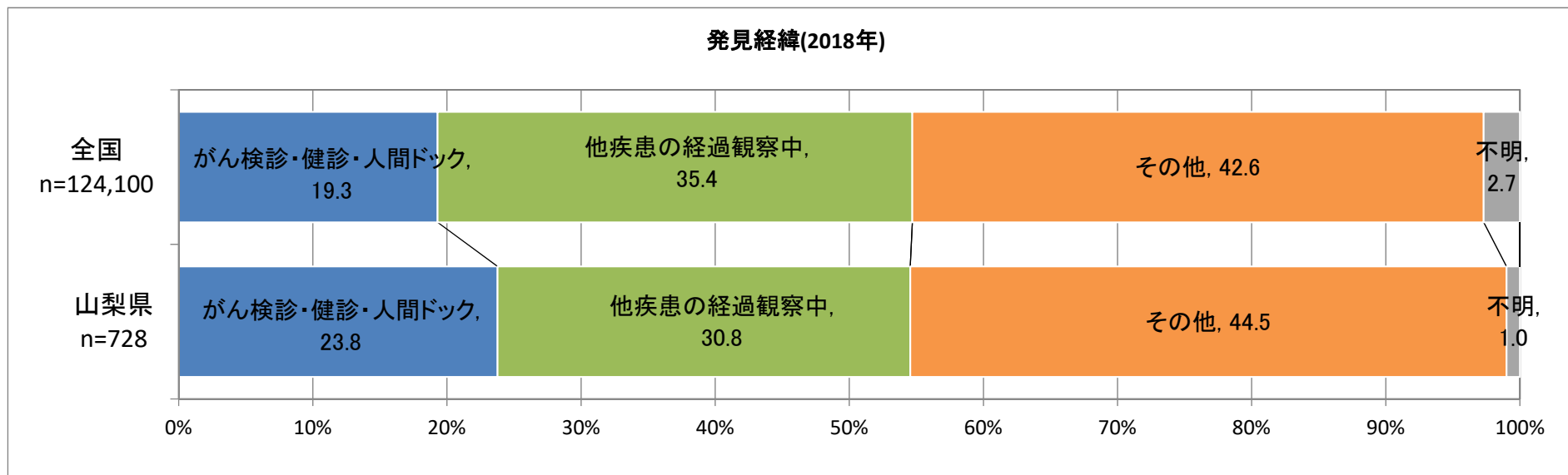
# 胃がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



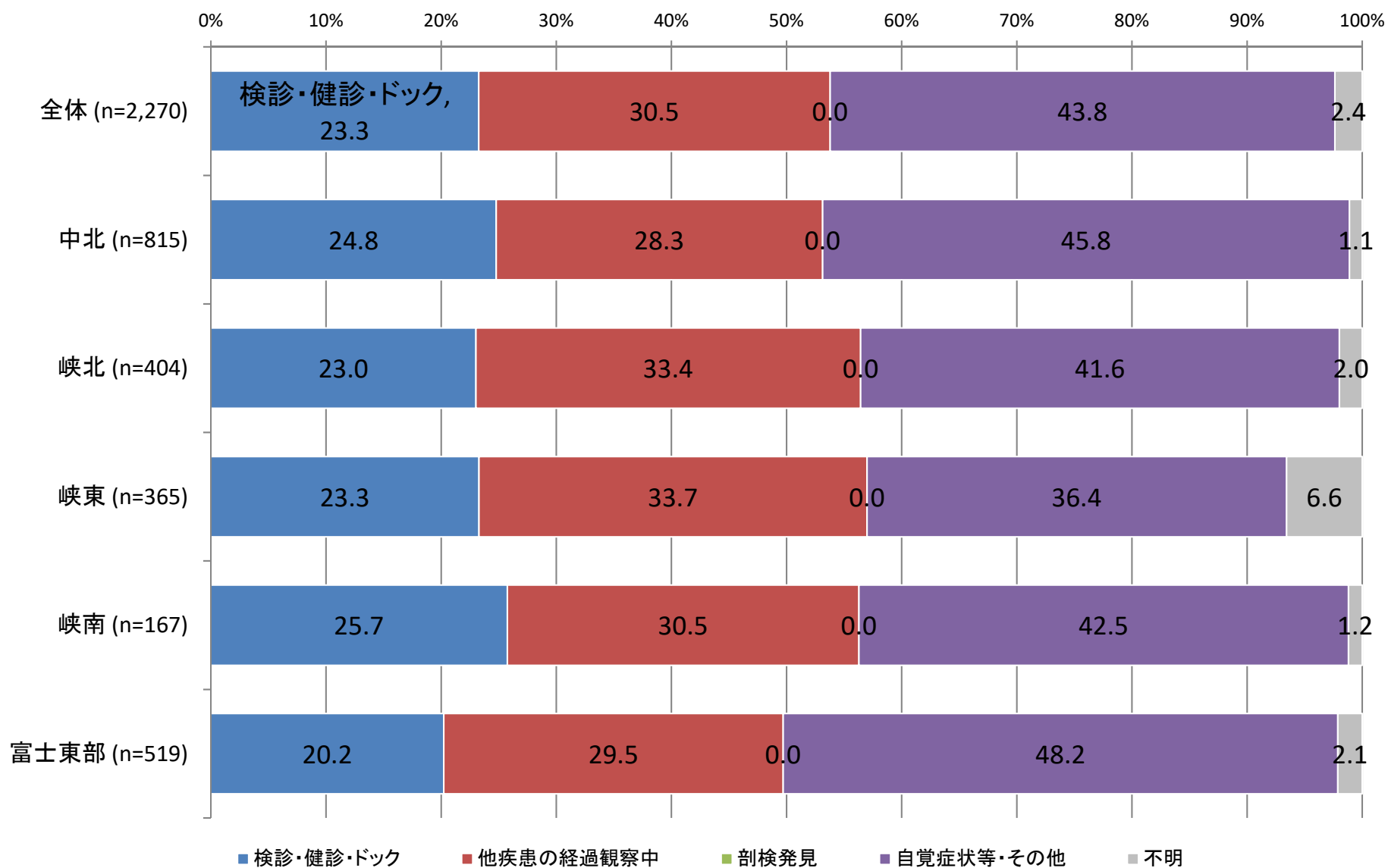
# 胃がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%)

(上皮内がん除く)

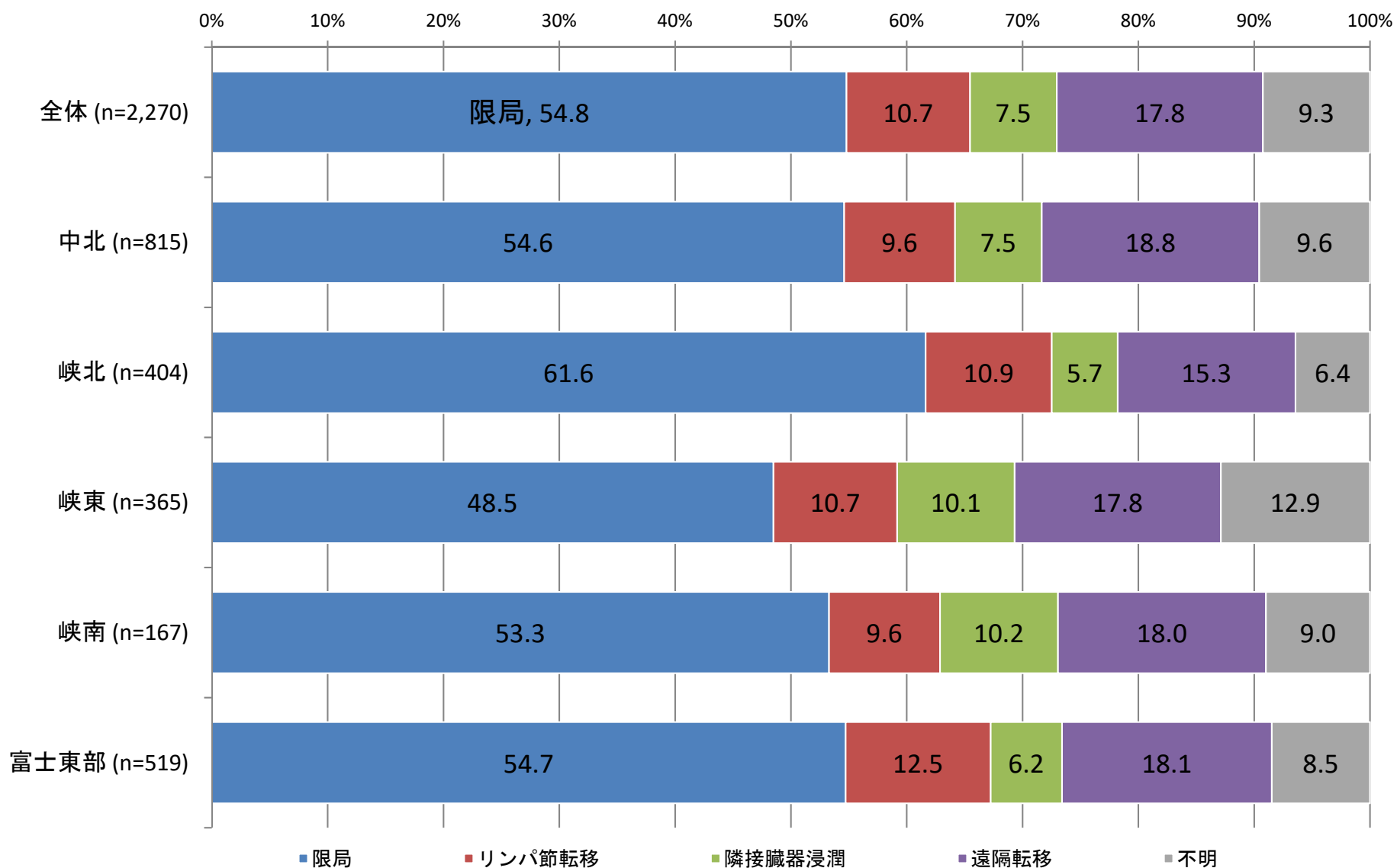
出典：国立がん研究センターがん情報サービス  
山梨県がん罹患集計



# 胃がん保健所管内別の発見経緯(2016~2018年)

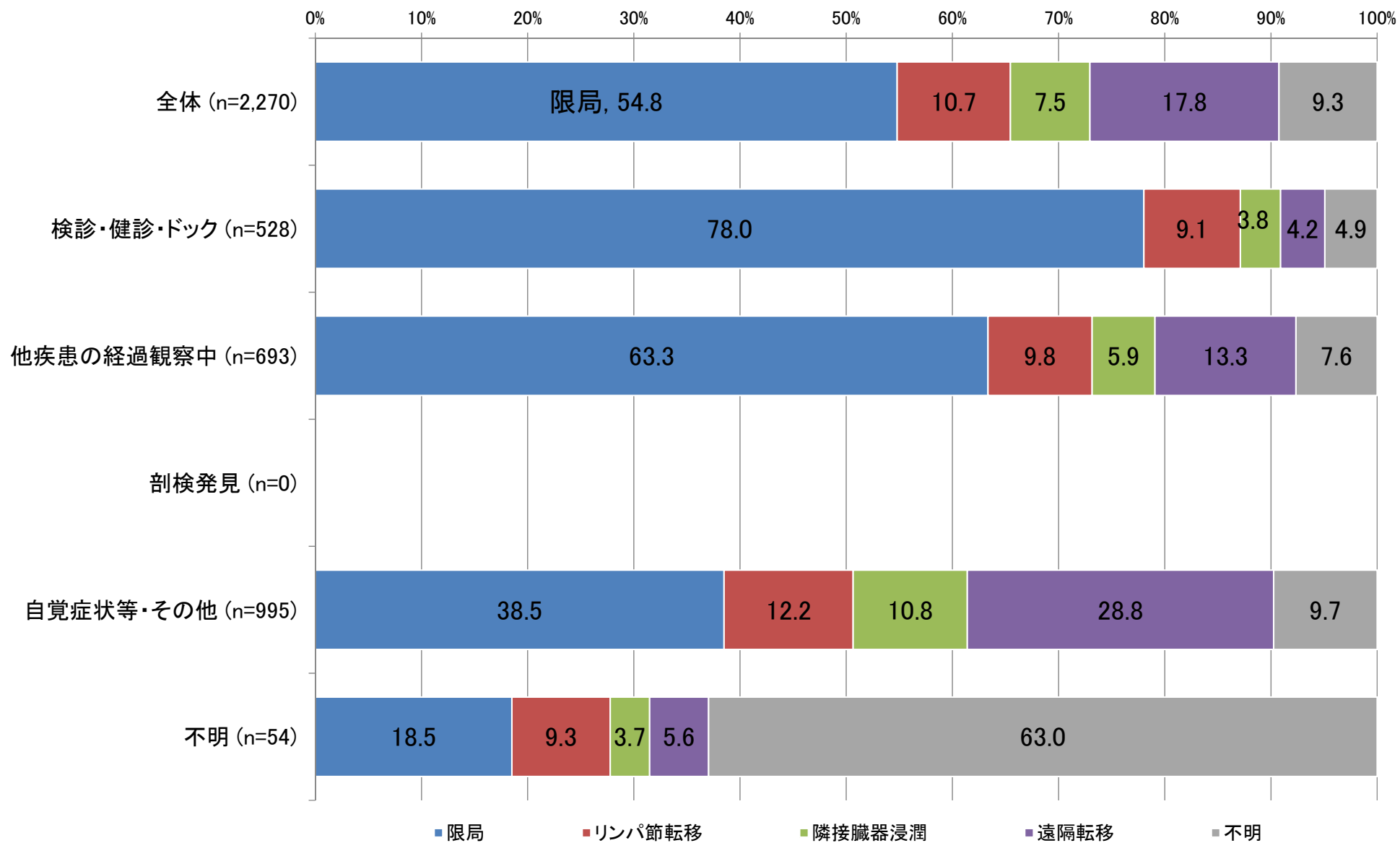


# 胃がん保健所管内別の進行度(2016~2018年)



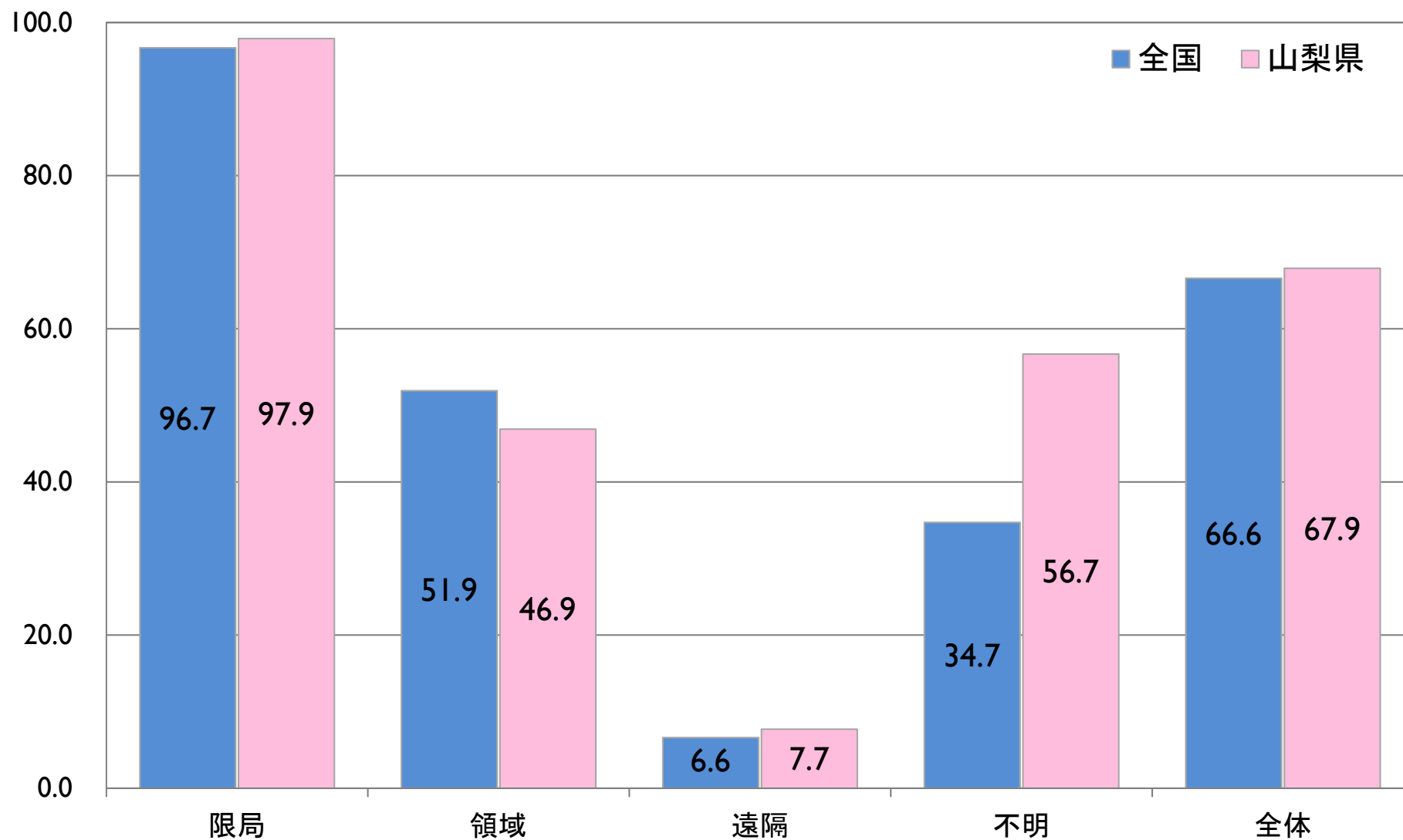


# 胃がん発見経緯別の進行度(2016~2018年)



# 胃がんの5年相対生存率(2009~2011年)(%)

出典：2009~2011年生存率報告（MCIJ-S）



領域：リンパ節転移 + 隣接臓器浸潤

# 胃がんのまとめ

---

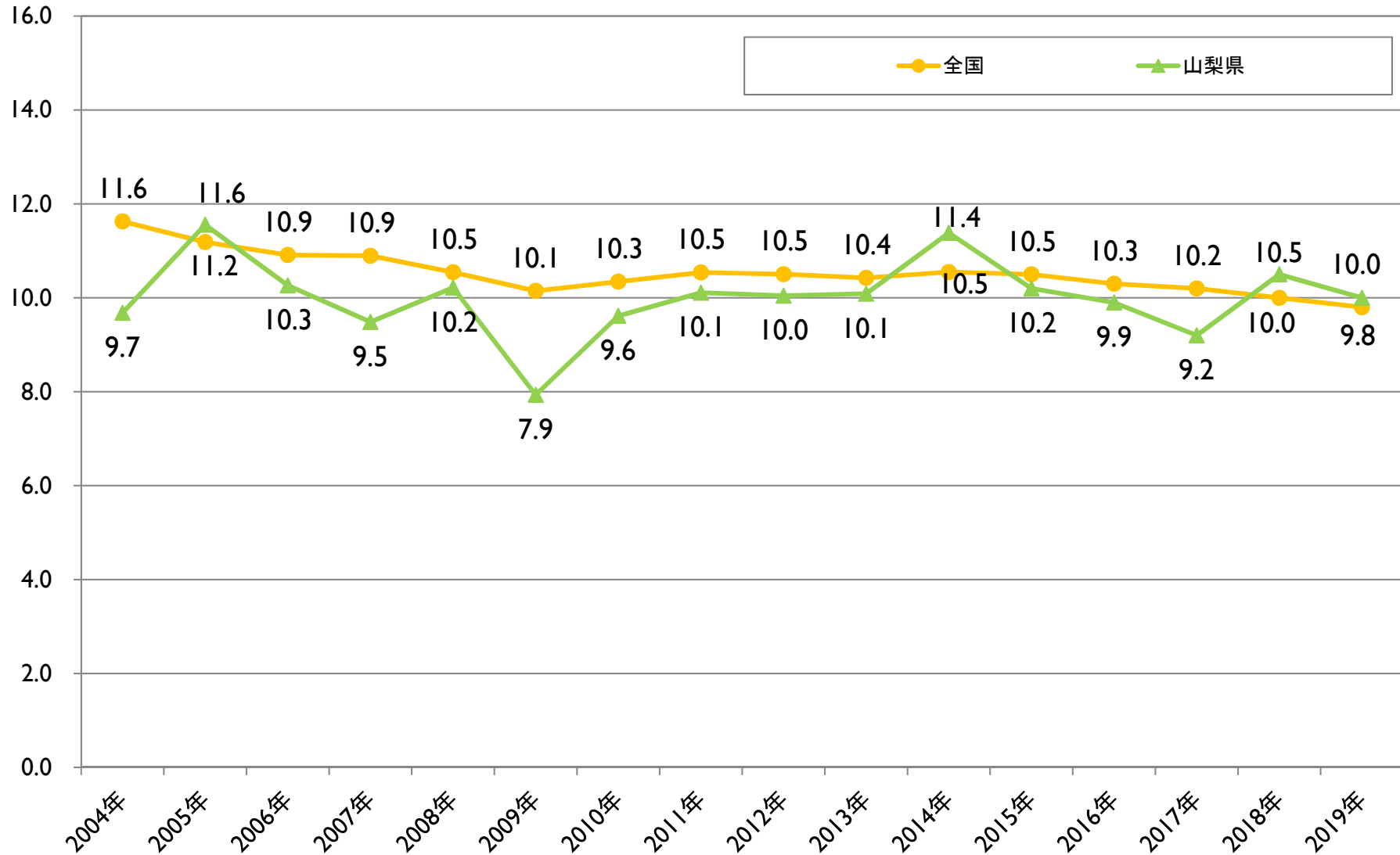
- ▶ 75歳未満年齢調整死亡率は、直近10年間に約4割減少し、がん対策推進計画が2割減を全体目標とする中で、減少幅が大きい。
- ▶ 発見経緯別の進行度(2016～2018)は、検診等で発見されたうち限局が78.0%で他のがんに比べて高い。
- ▶ 5年相対生存率は、限局では97.9%であるが、領域では46.9%に半減しており、早期発見がより重要である。

# 大腸がんについて

山梨県のがん統計

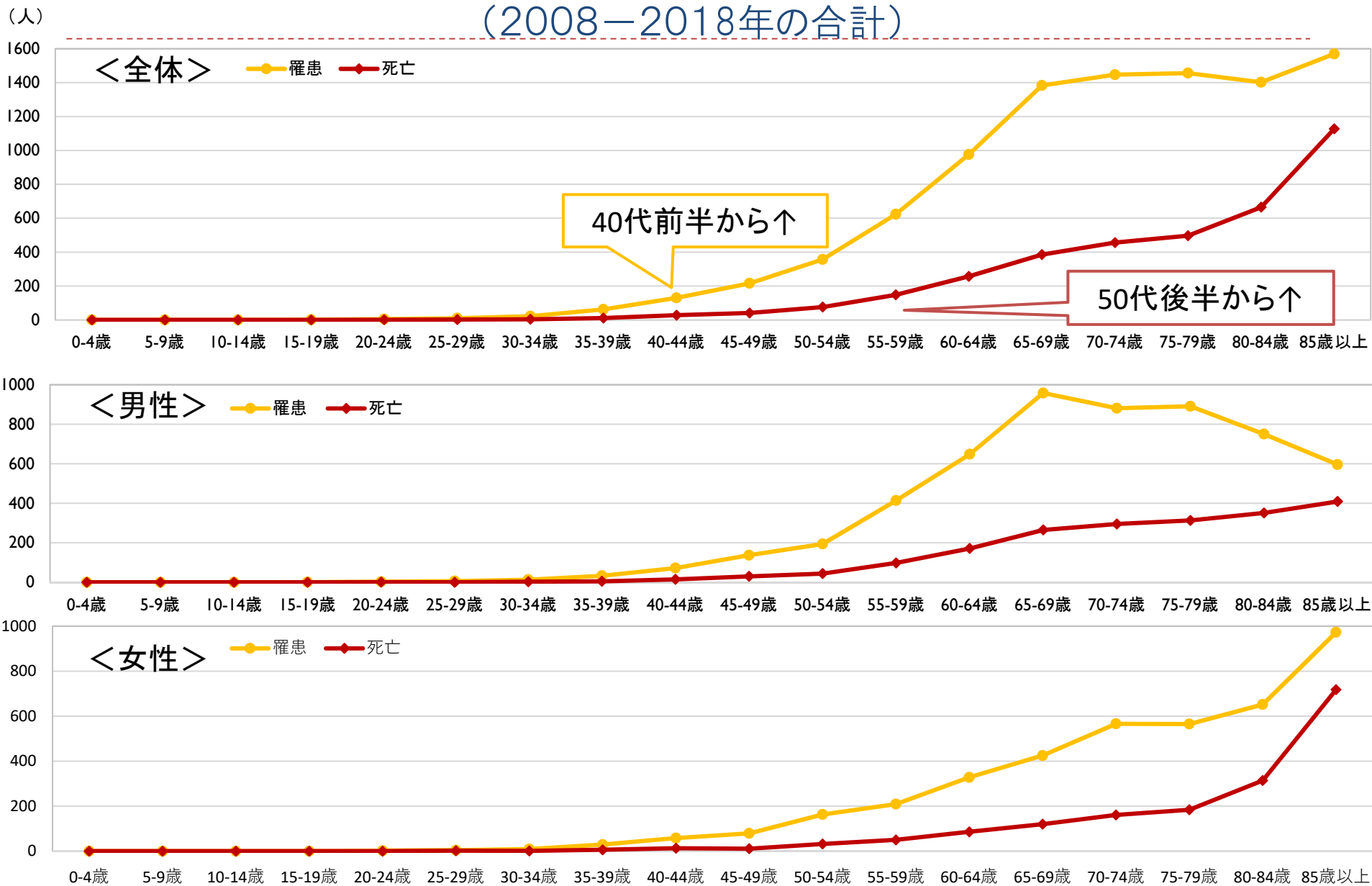
# 大腸がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス



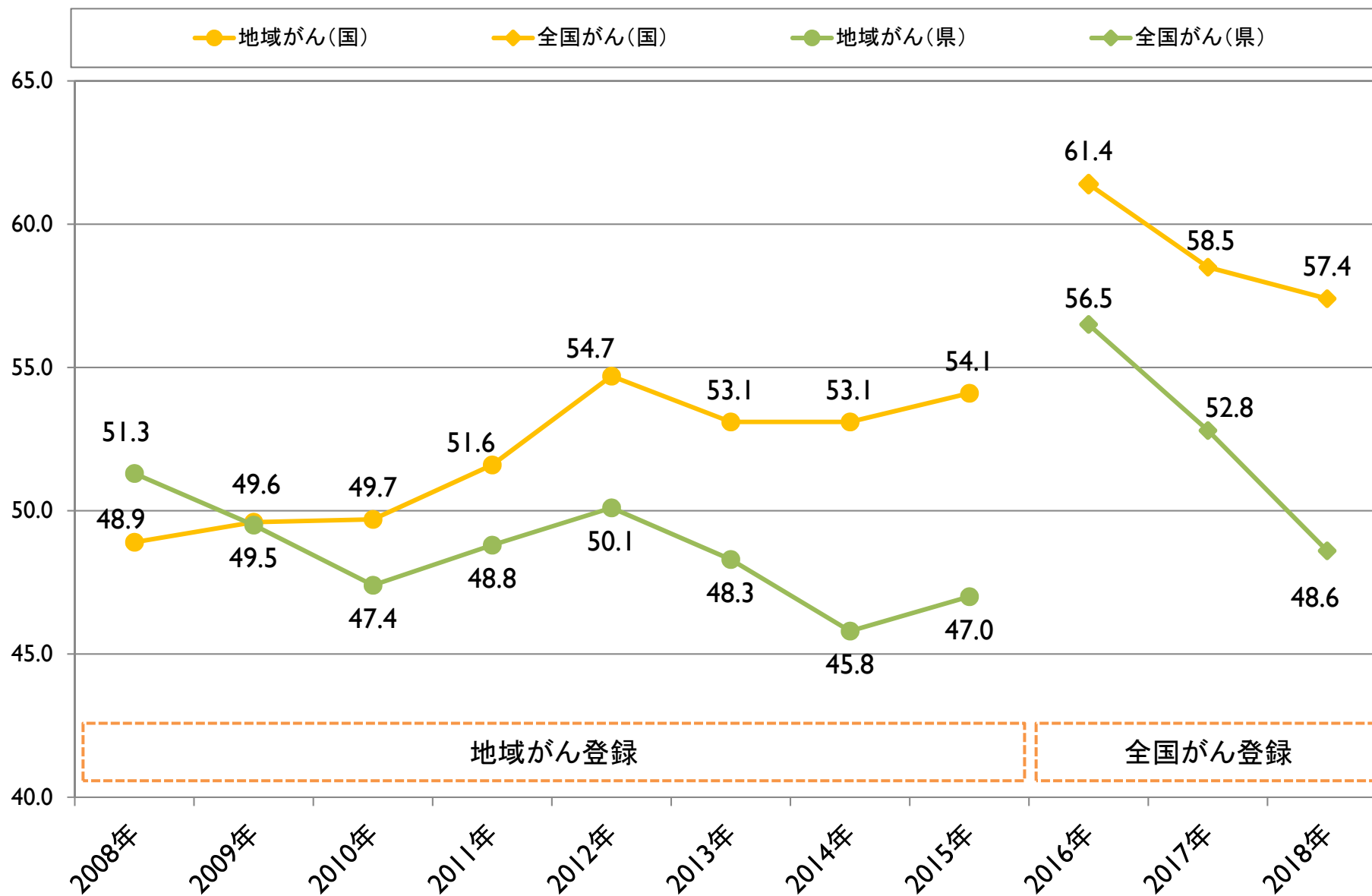
# 大腸がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比較

(2008-2018年の合計)

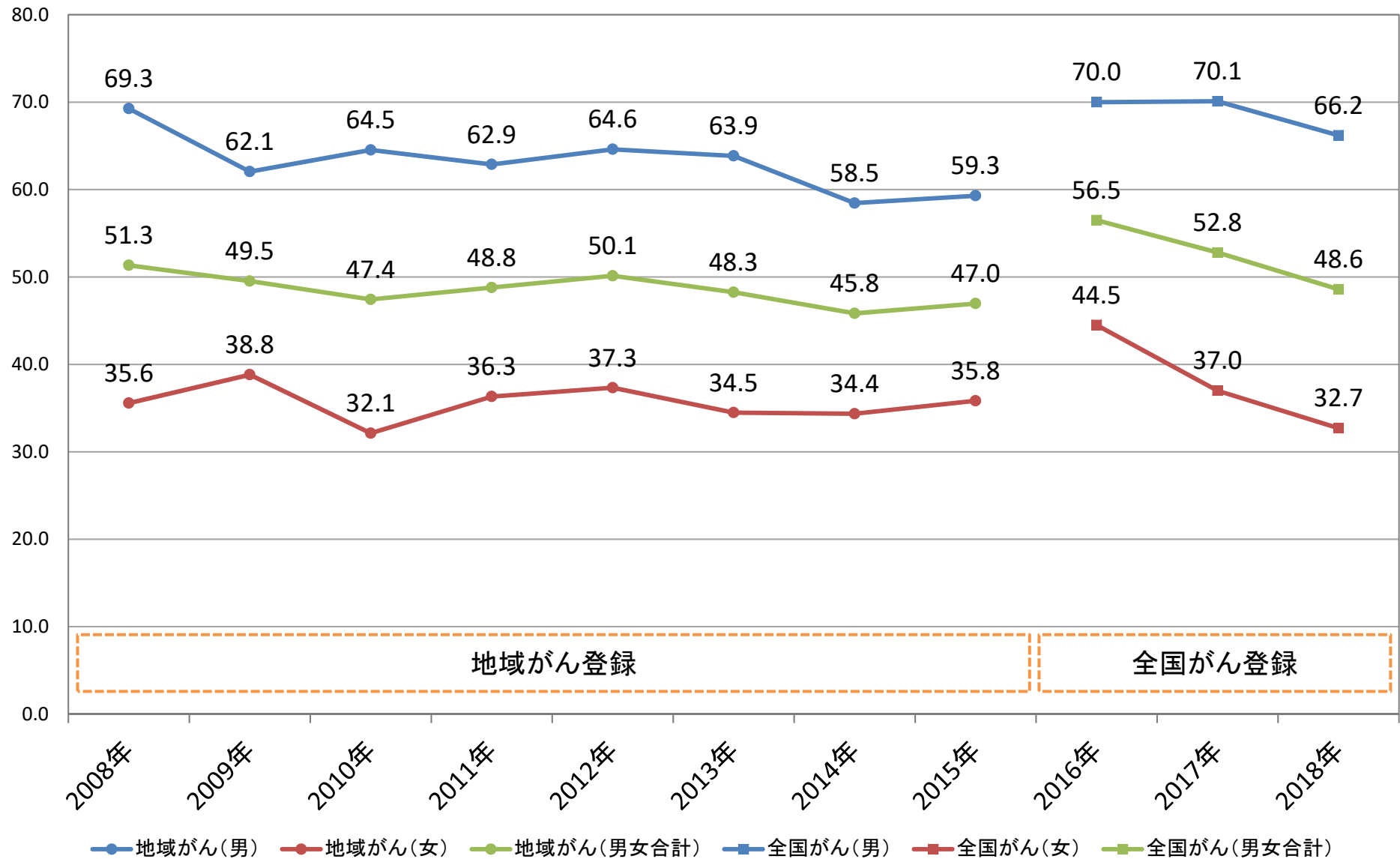


出典：人口動態統計・山梨県がん罹患統計

# 大腸がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



# 大腸がん男女別年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)

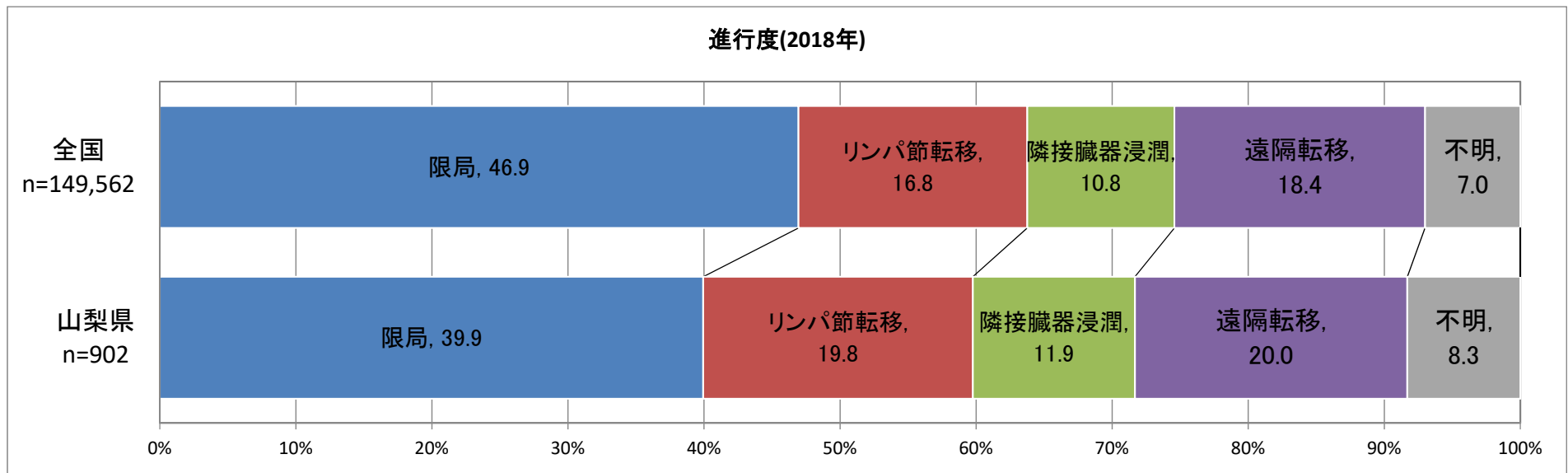
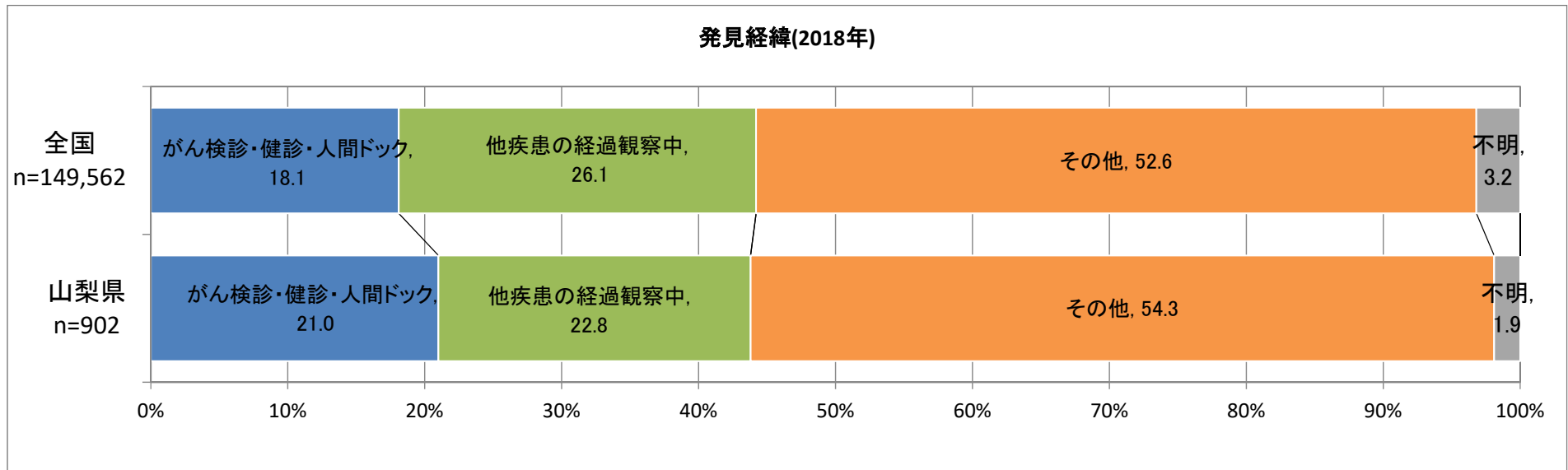




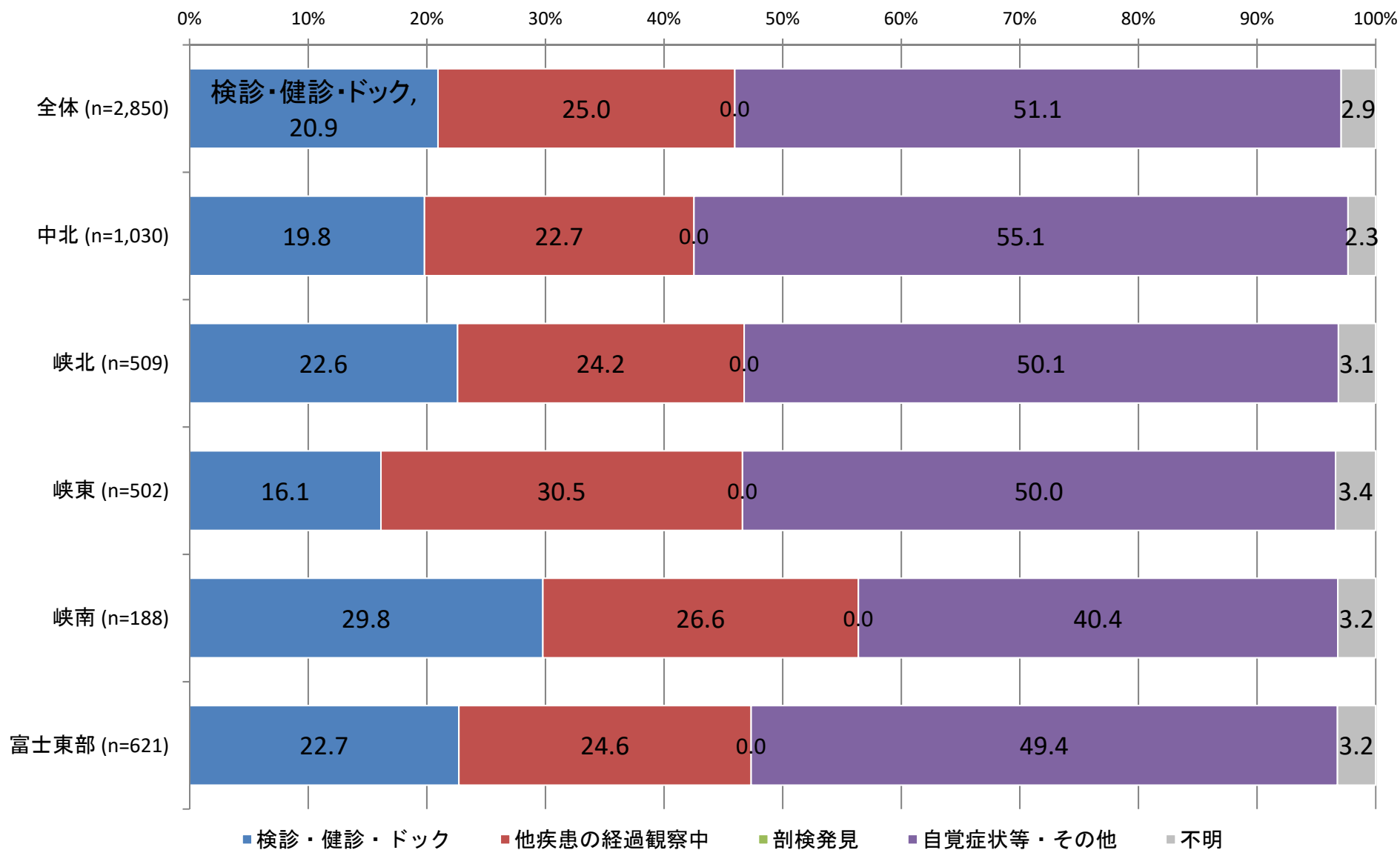
# 大腸がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%)

(上皮内がん除く)

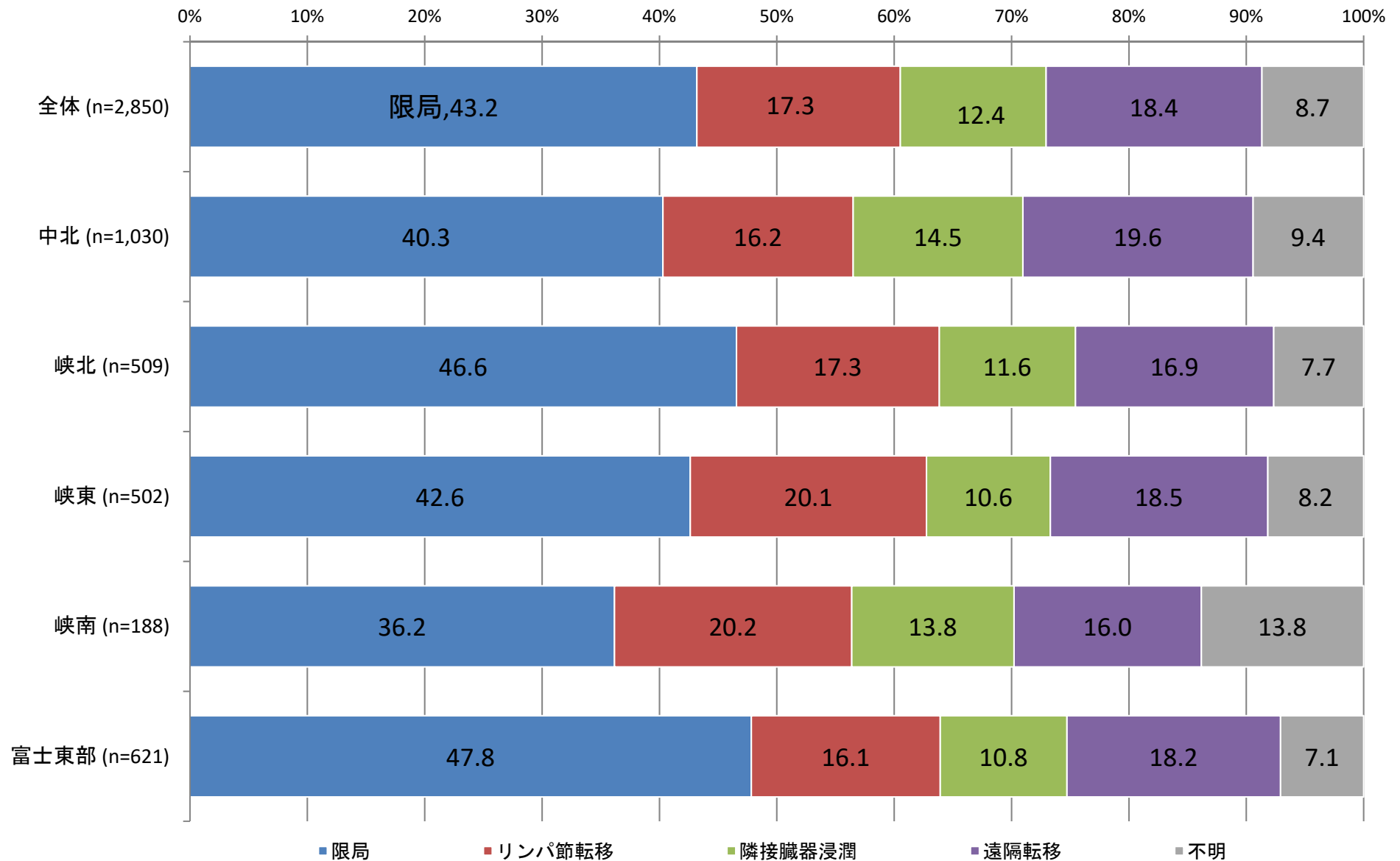
出典：国立がん研究センターがん情報サービス  
山梨県がん罹患集計



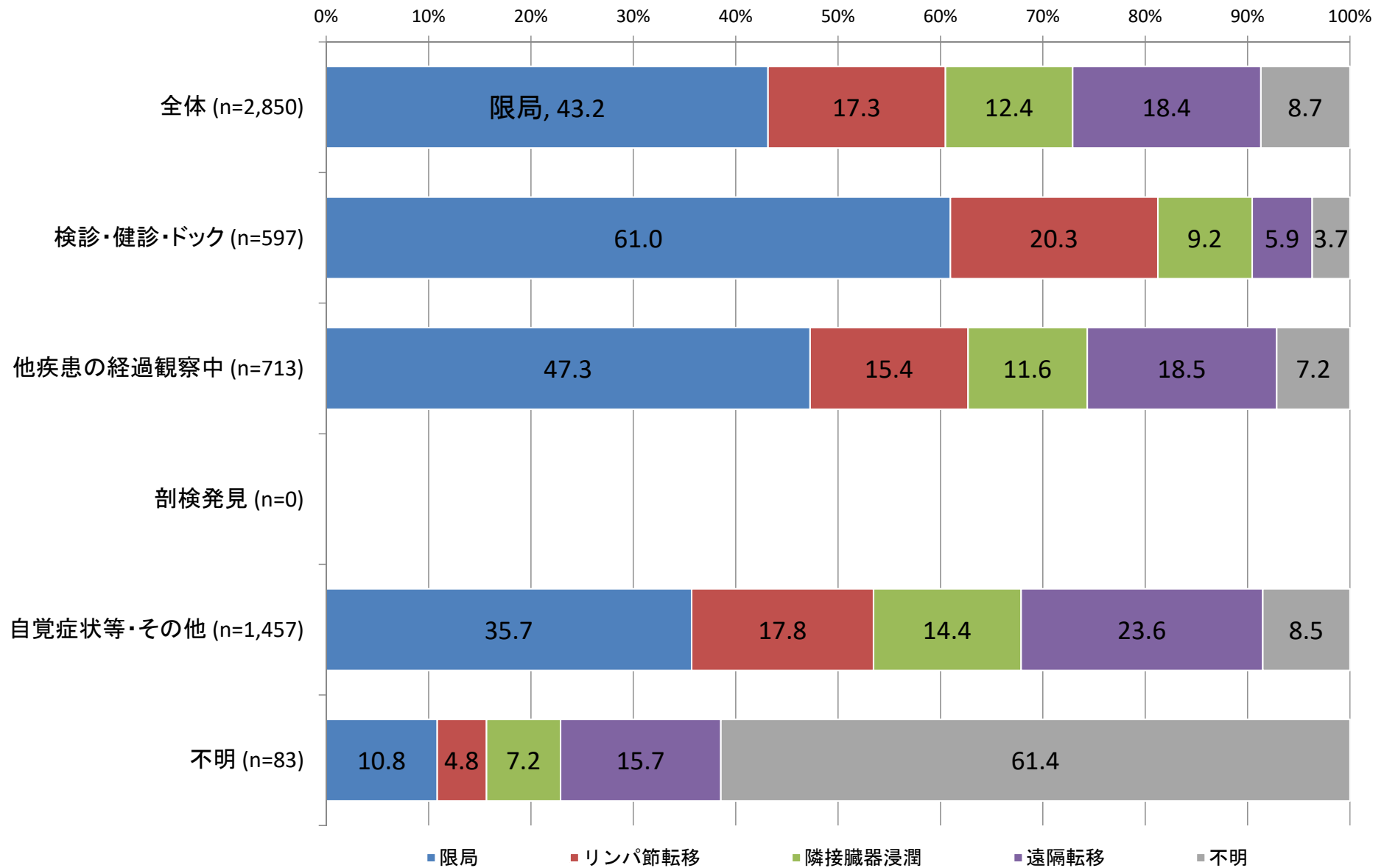
# 大腸がん保健所管内別の発見経緯(2016~2018年)



# 大腸がん保健所管内別の進行度(2016~2018年)

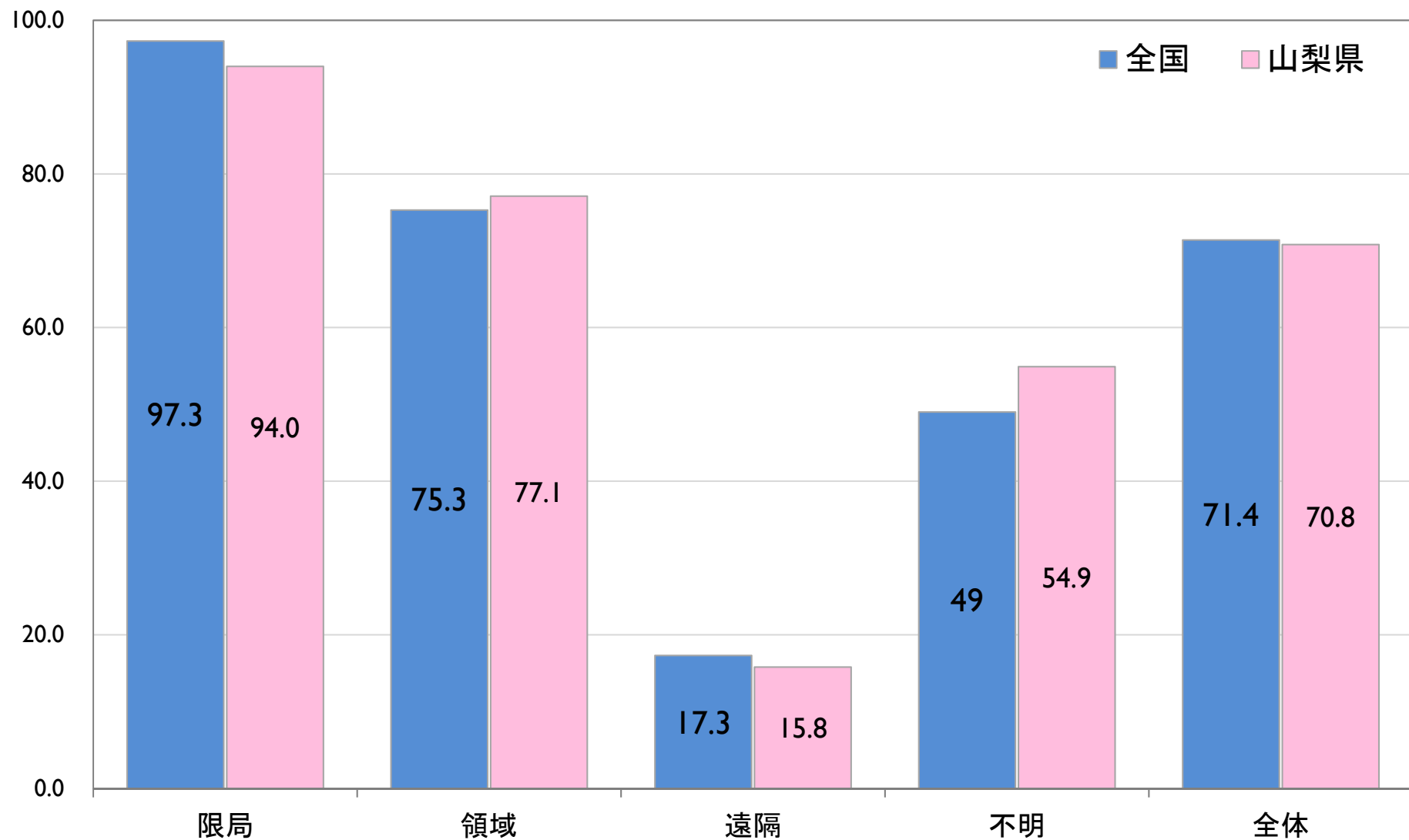


# 大腸がん発見経緯別の進行度(2016~2018年)



# 大腸がんの5年相対生存率(2009~2011年)(%)

出典：2009~2011年生存率報告 (MCIJ-S)



領域：リンパ節転移 + 隣接臓器浸潤

# 大腸がんのまとめ

---

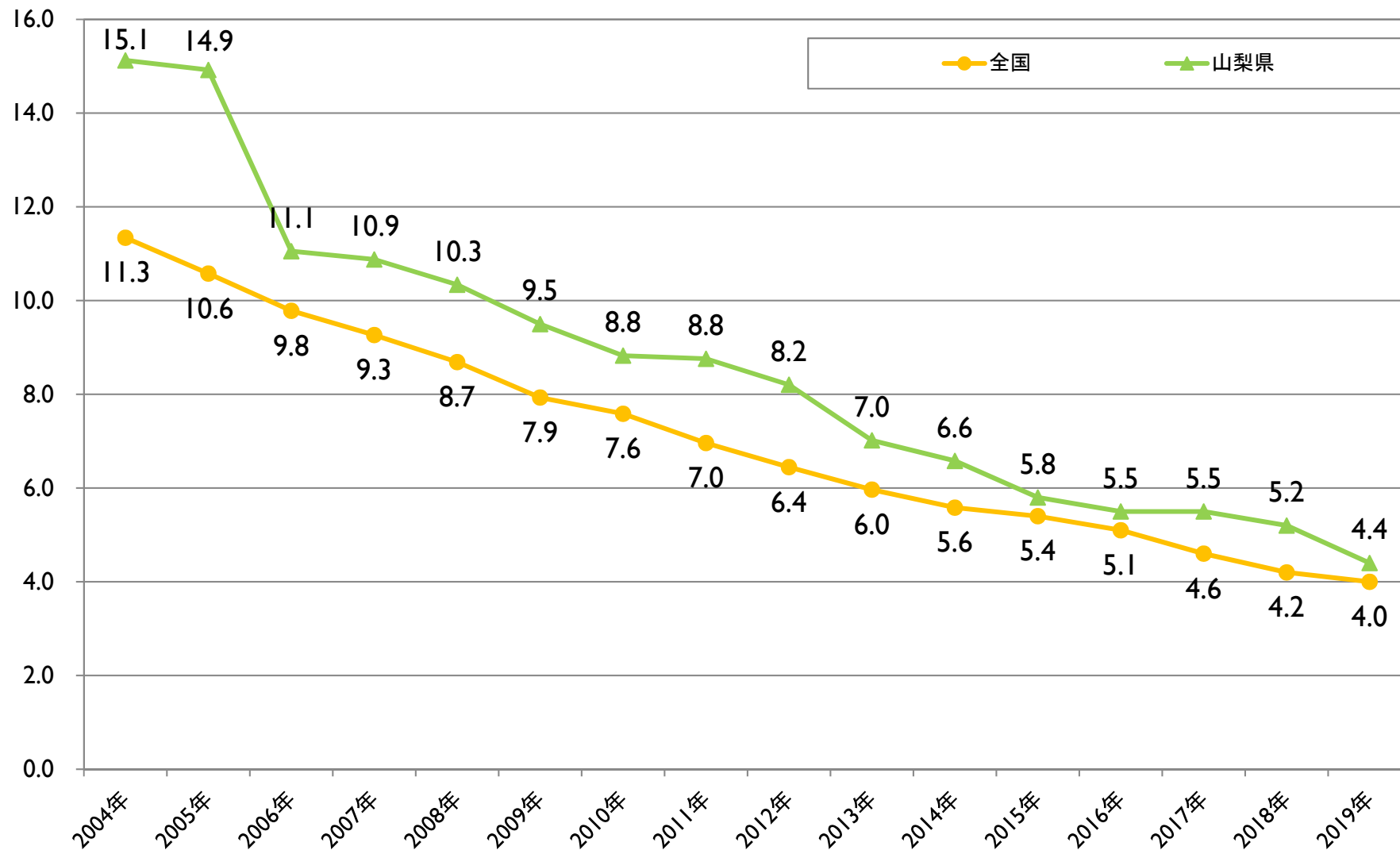
- ▶ 75歳未満年齢調整死亡率は、長期的に横ばいで推移している。
- ▶ 発見経緯別の進行度(2016~2018)は、検診等で発見されたうち限局が61.0%で、胃がんや肝がんの70%台と比べて低く、検診の受診控えにより、一層の低下が懸念される。
- ▶ 5年相対生存率は、限局では94.0%であるが、領域では77.1%に減少しており、早期発見が重要である。

# 肝がんについて

山梨県のがん統計

# 肝がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）

出典：国立がん研究センターがん情報サービス

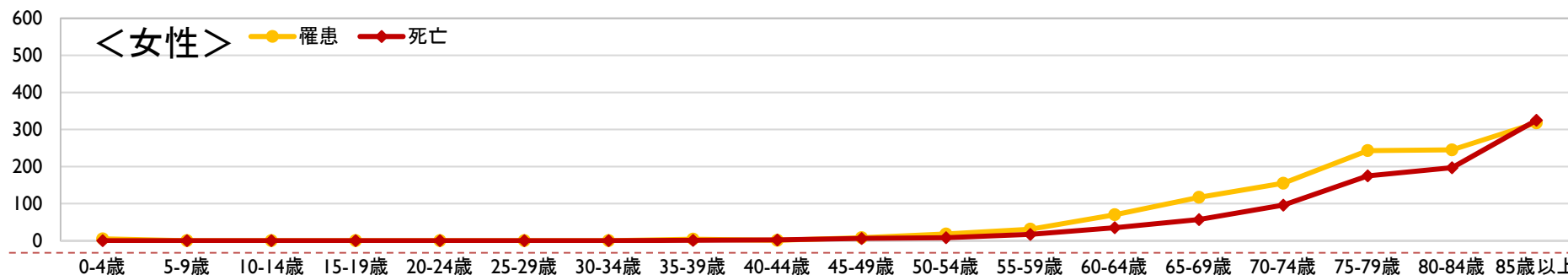
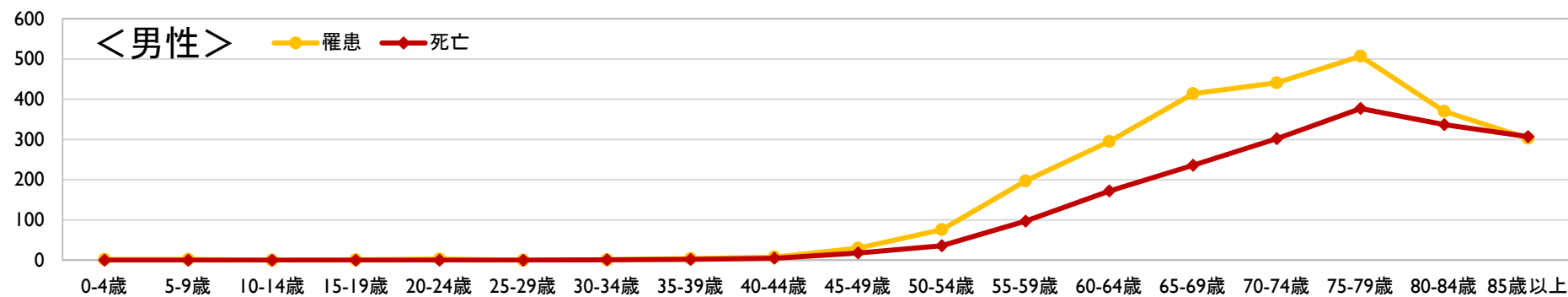
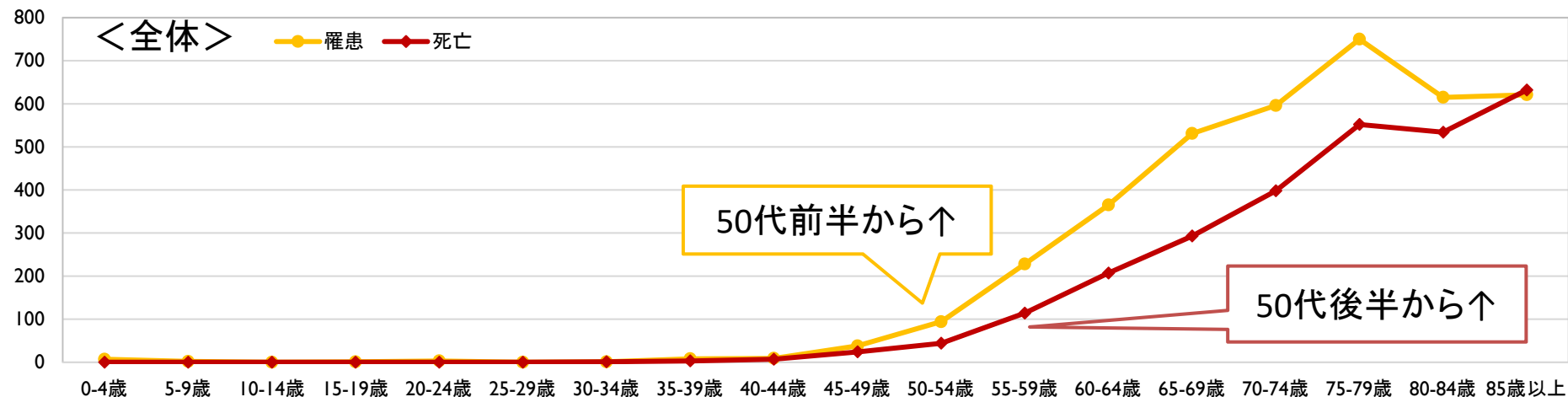




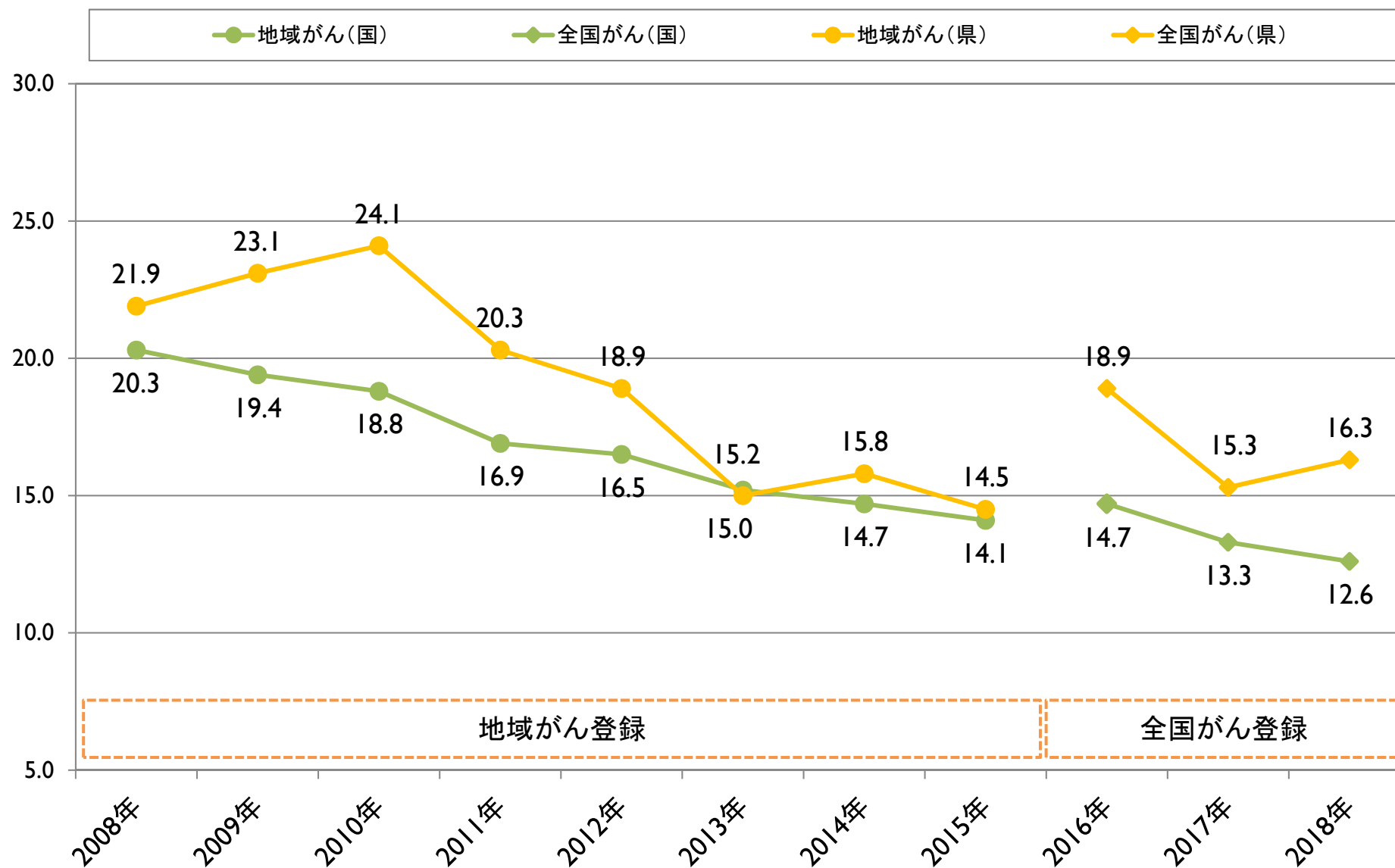
# 肝がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比較

(2008-2018年の合計)

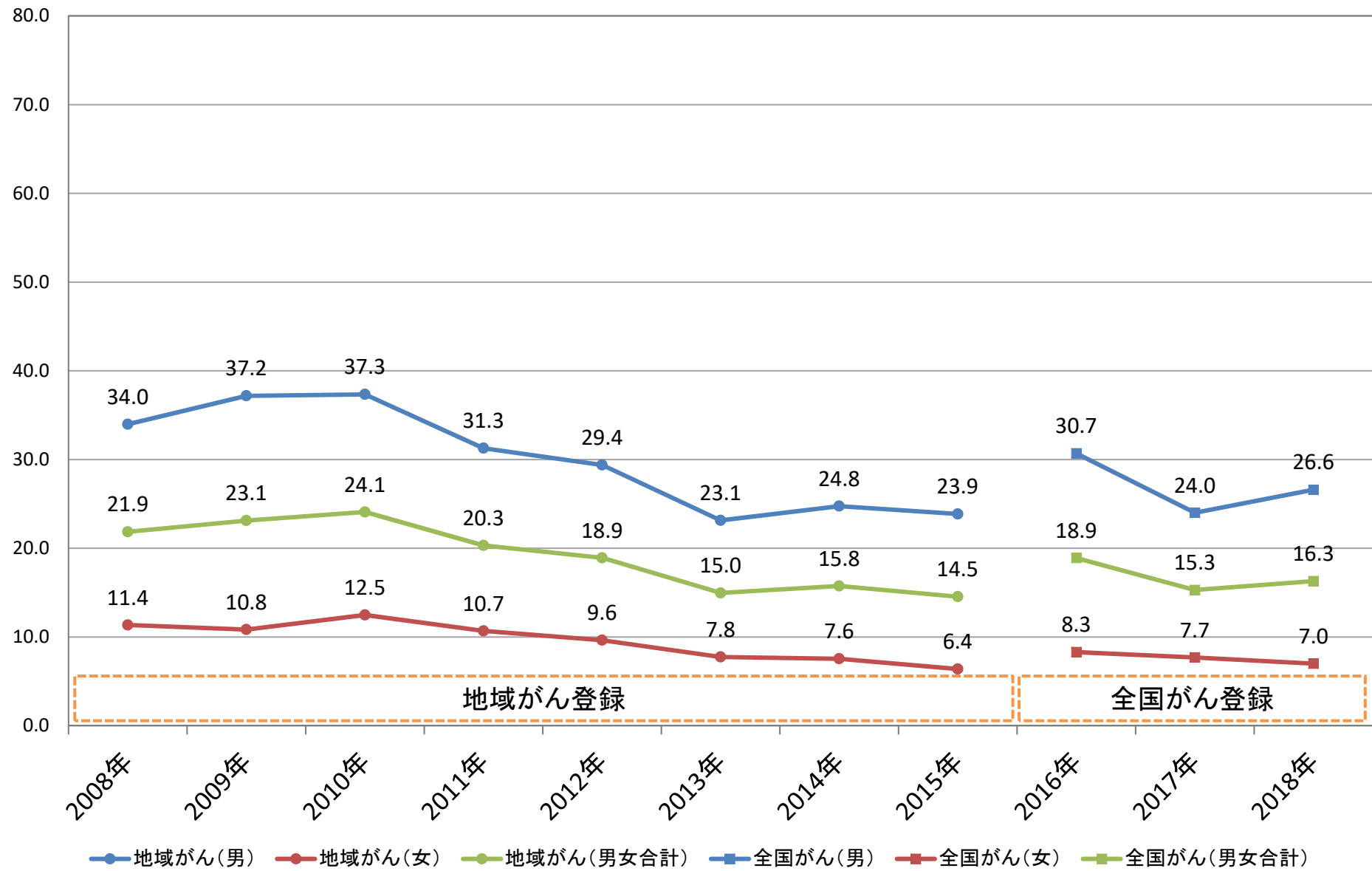
(人)



# 肝がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



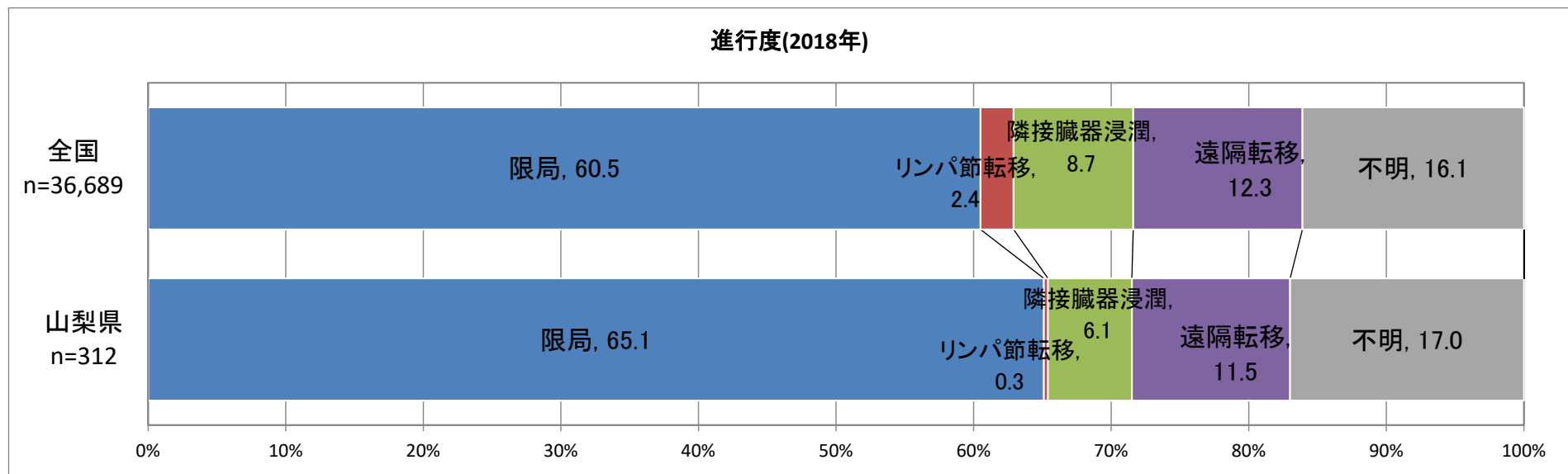
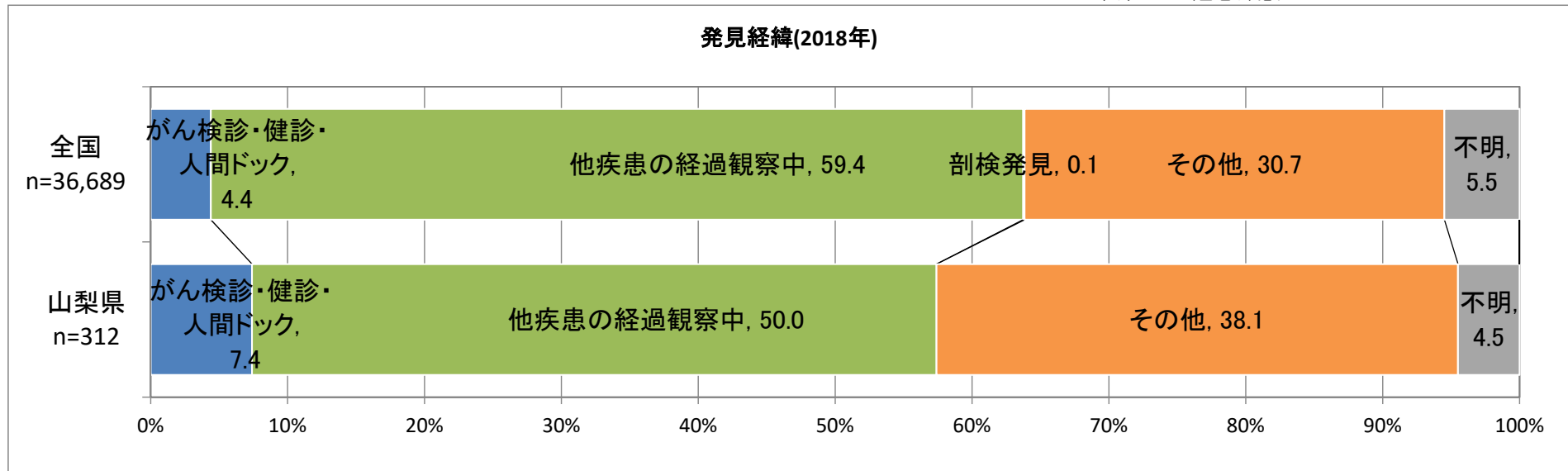
# 肝がん男女別年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



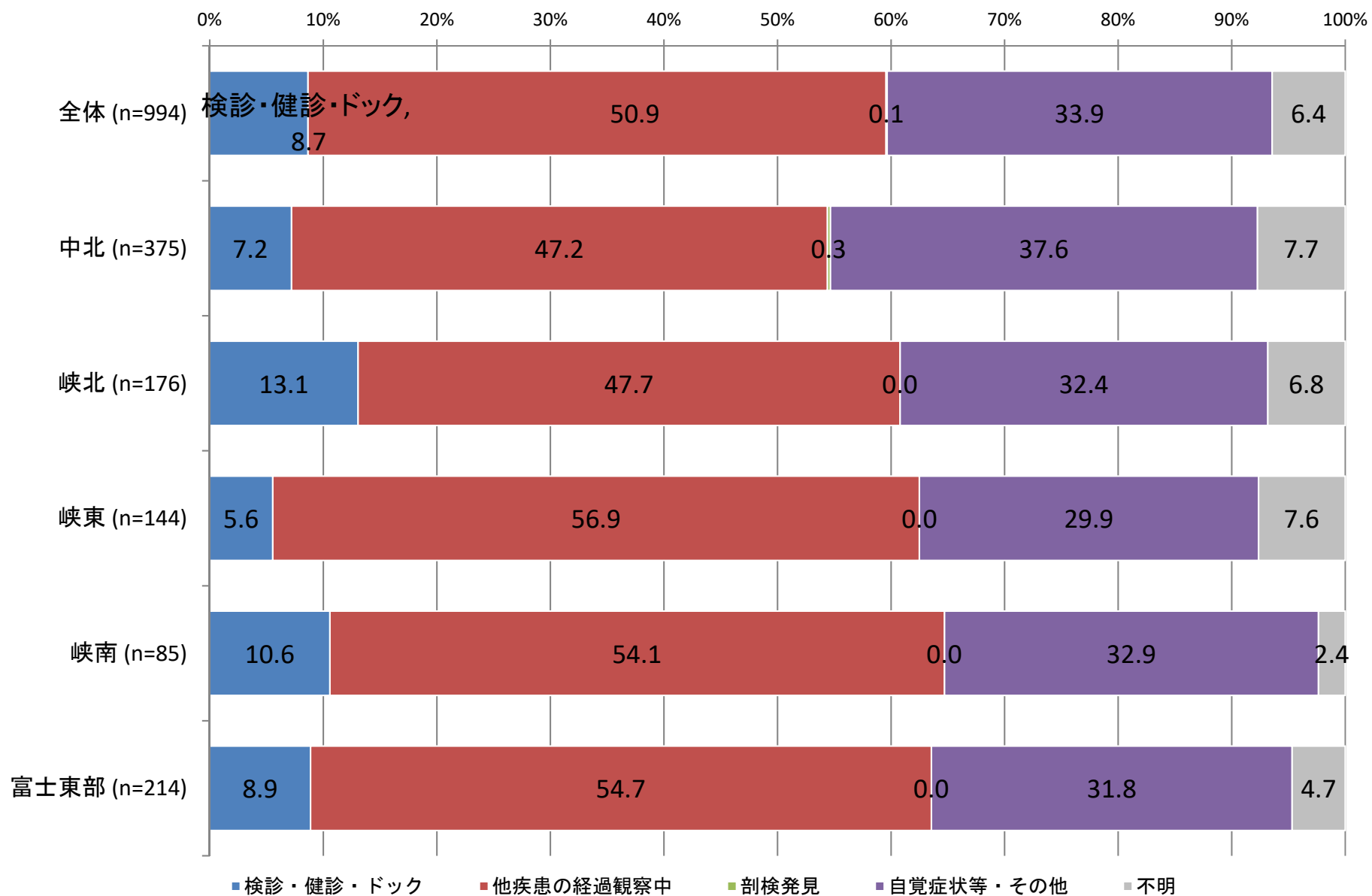
# 肝がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%)

(上皮内がん除く)

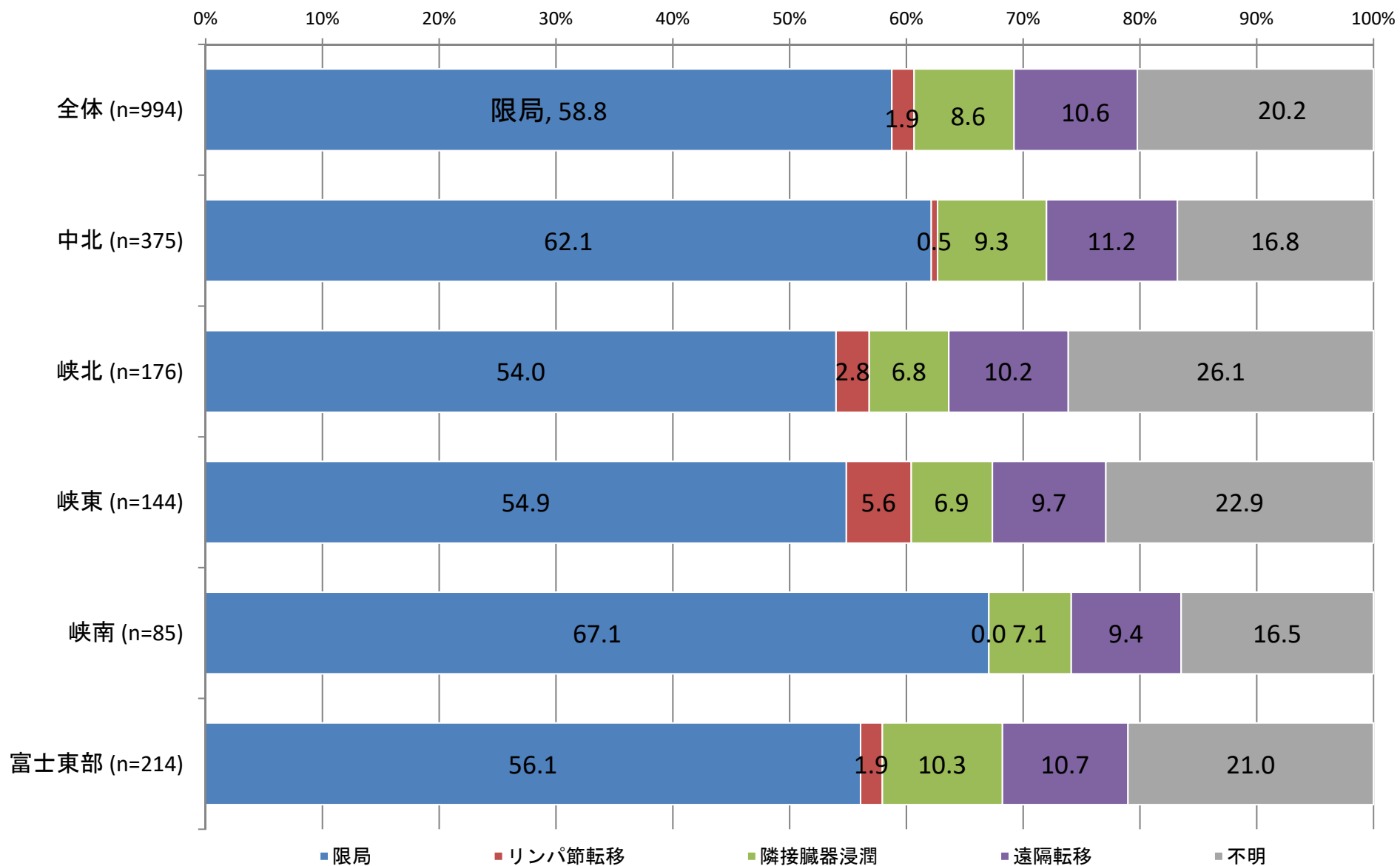
出典：国立がん研究センターがん情報サービス  
山梨県がん罹患集計



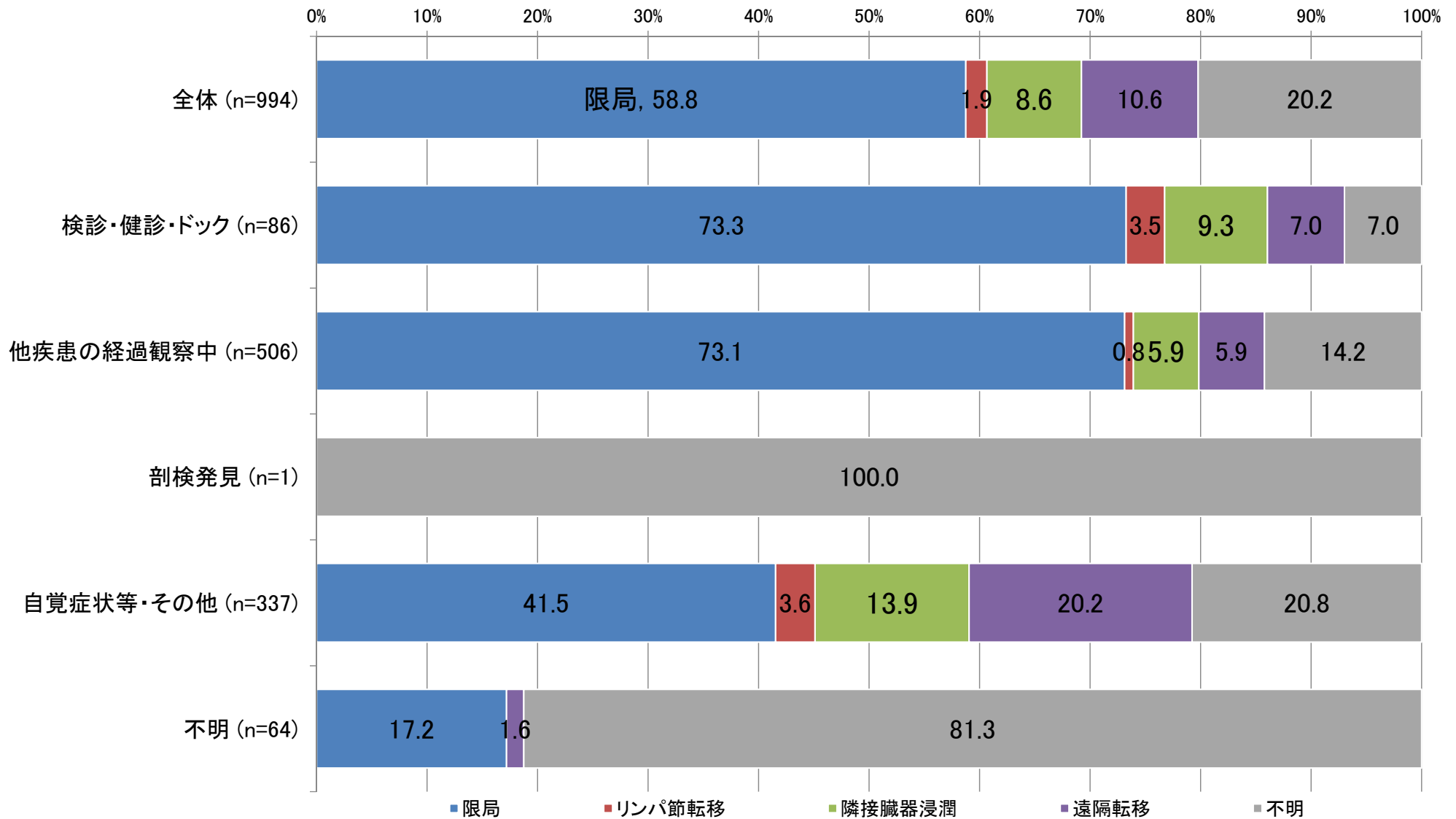
# 肝がん保健所管内別の発見経緯(2016~2018年)



# 肝がん保健所管内別の進行度(2016~2018年)

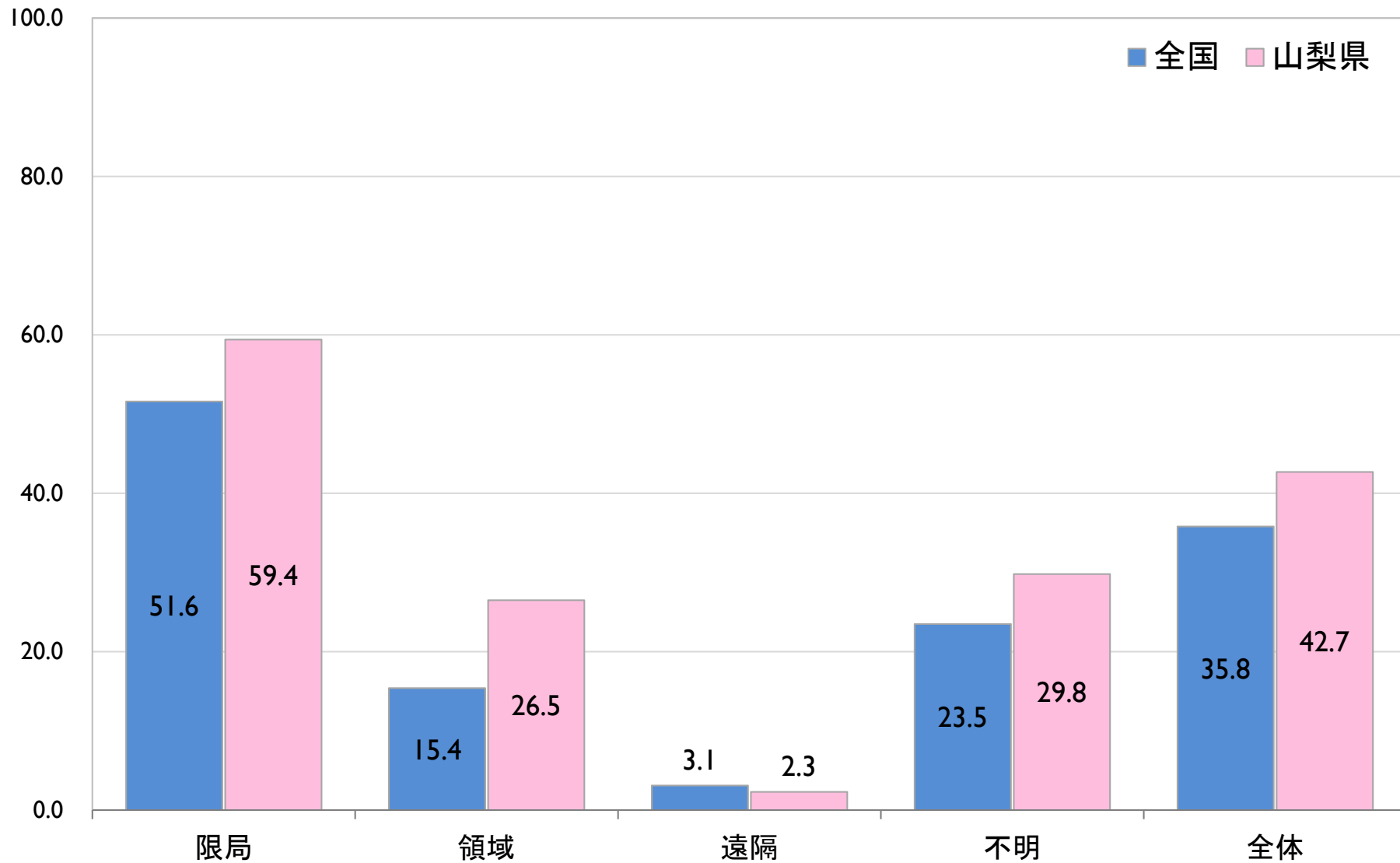


# 肝がん発見経緯別の進行度(2016~2018年)



# 肝がんの5年相対生存率(2009~2011年)(%)

出典：2009~2011年生存率報告(MCIJ-S)





# 肝がんのまとめ

---

- ▶ 75歳未満年齢調整死亡率は、10年前に比べ約半減したが、未だ全国を上回っている。
- ▶ 発見経緯(2016～2018)は、他疾患の経過観察中が50.9%で、対策型検診を行う5がんに比べて最も高く、検診等は8.7%で最も低い。
- ▶ 進行度(2016～2018)は、限局が58.8%で、胃がんや大腸がんに比べ高いが、5年相対生存率は限局であっても59.4%で、これらのがんに比べ低い。
- ▶ 肝炎対策推進計画に基づく施策を推進する必要がある。